

苧田町新庁舎建設基本構想

【資料編】



令和 6 年 3 月

苧田町

目 次

1 庁舎利用者の意向把握調査	1
(1) 新庁舎建設に関するアンケート調査（町民アンケート及び意見投書箱）	1
(2) 新庁舎建設に関するアンケート調査（職員アンケート）	26
(3) 団体ヒアリング調査.....	38
2 基本構想参考資料	40
(1) 新庁舎建設候補地比較・評価参考資料	40

1 庁舎利用者の意向把握調査

(1) 新庁舎建設に関するアンケート調査（町民アンケート及び意見投書箱）

■ 調査概要

調査目的	苅田町新庁舎建設基本構想の策定にあたり、現庁舎の利用実態や課題、新庁舎に求められる機能、複合化に関する考え方等について、実際に庁舎を利用する町民目線での意見を把握するために実施。		
調査	町民アンケート	web アンケート	意見投書箱
調査対象者	町内在住 18 歳以上の人 2,500 人・無作為抽出	町内在住 18 歳以上の人	意見投書箱を設置した 公共施設利用者
調査期間	令和 5 年(2023 年) 7 月 25 日(火)～ 8 月 10 日(木)	令和 5 年(2023 年) 7 月 25 日(火)～ 8 月 31 日(木)	令和 5 年(2023 年) 7 月 25 日(火)～ 8 月 31 日(木)
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 郵送にて調査票配布 調査票紙面もしくは町HP回答フォームによる回答 選択回答式（一部自由記述式） 	<ul style="list-style-type: none"> 町HP回答フォームによる回答 選択回答式（一部自由記述式） 	<ul style="list-style-type: none"> 調査票及び投書箱を本庁舎含む庁内関連公共施設に設置 自由記述式
設問概要	<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎の利用状況（頻度、交通手段、用件、滞在時間、不便に感じる点） 新庁舎整備の方向性（整備理念・あり方、基本的・付加的な機能・スペース、建設場所、複合化） ご意見・要望（自由記述） 		<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎を訪れて施設面で不便に感じる点 新庁舎整備を進めるにあたり、施設への要望や期待すること
有効回答数	846 件	186 件	21 件
有効回収率	33.8%	—	—

※Q1～16の結果は町民アンケート及び web アンケートを統合し、Q17の結果は、町民アンケート、web アンケート及び意見投書箱の結果を統合しています。

< 調査票イメージ >

町民アンケート

web アンケート

意見投書箱

町民アンケート

web アンケート

意見投書箱

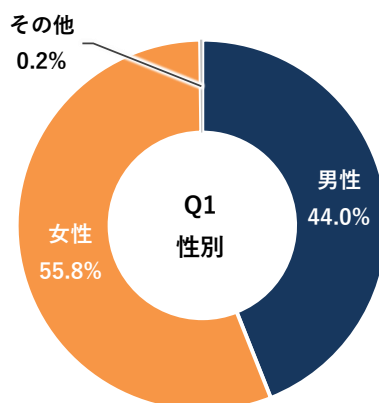
1 庁舎利用者の意向把握調査

■ 調査結果

I あなたご自身のことについてお聞きます

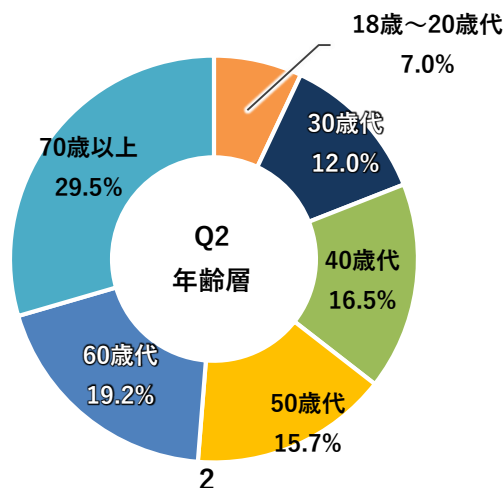
Q1. あなたの性別についてお答えください。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	男性	453	44.0%
2	女性	575	55.8%
3	その他	2	0.2%
a	有効回答者数 (人)	1,030	100.0%
b	不明・無回答(人)	1	—
c	指定数以上の回答(人)	1	—
回答者数 (人) a+b+c		1,032	

※比率は、有効回答者数に対する回答割合を示しています。



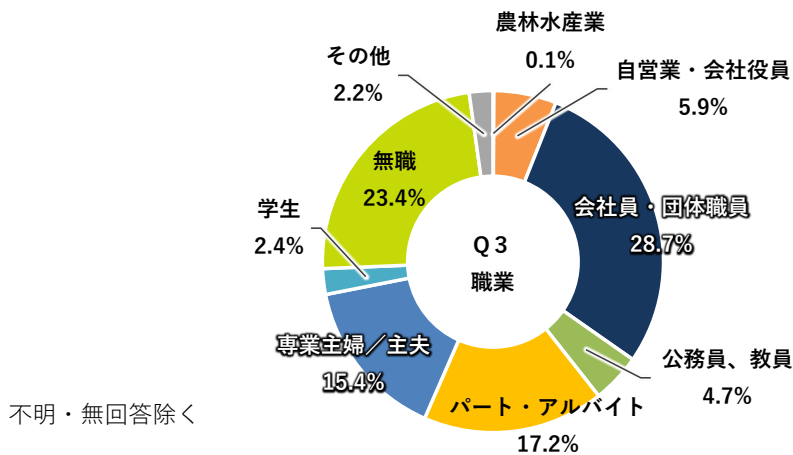
不明・無回答、
指定数以上の回答除く

Q2. あなたの年齢についてお答えください。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	18歳～20歳代	72	7.0%
2	30歳代	124	12.0%
3	40歳代	170	16.5%
4	50歳代	162	15.7%
5	60歳代	198	19.2%
6	70歳以上	304	29.5%
a	有効回答者数 (人)	1,030	100.0%
b	不明・無回答(人)	1	—
c	指定数以上の回答(人)	1	—
回答者数 (人) a+b+c		1,032	

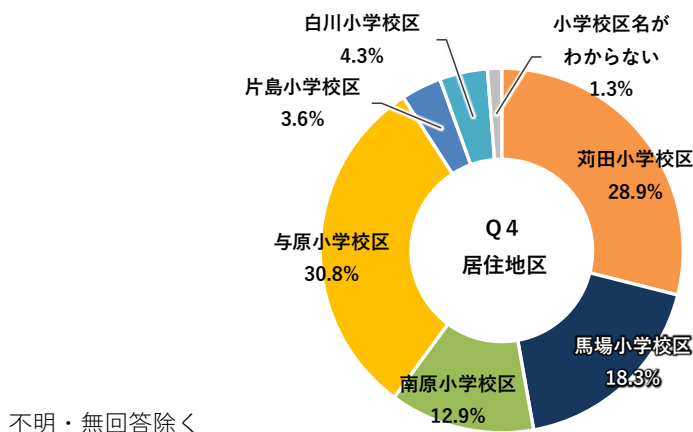


不明・無回答、
指定数以上の回答除く

Q3. あなたの職業についてお答えください。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	農林水産業	1	0.1%
2	自営業・会社役員	61	5.9%
3	会社員・団体職員	295	28.7%
4	公務員、教員	48	4.7%
5	パート・アルバイト	177	17.2%
6	専業主婦／主夫	158	15.4%
7	学生	25	2.4%
8	無職	241	23.4%
9	その他	23	2.2%
a	有効回答者数 (人)	1,029	100.0%
b	不明・無回答(人)	3	-
回答者数 (人) a + b		1,032	

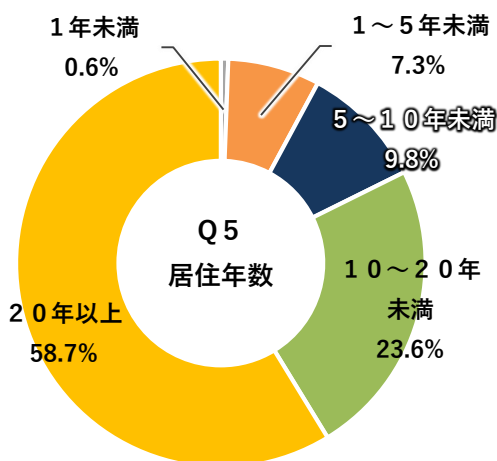


Q4. あなたのお住まいの地域(小学校区)についてお答えください。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	苅田小学校区	298	28.9%
2	馬場小学校区	188	18.3%
3	南原小学校区	133	12.9%
4	与原小学校区	317	30.8%
5	片島小学校区	37	3.6%
6	白川小学校区	44	4.3%
7	小学校区名がわからない	13	1.3%
a	有効回答者数 (人)	1,030	100.0%
b	不明・無回答(人)	2	-
回答者数 (人) a + b		1,032	



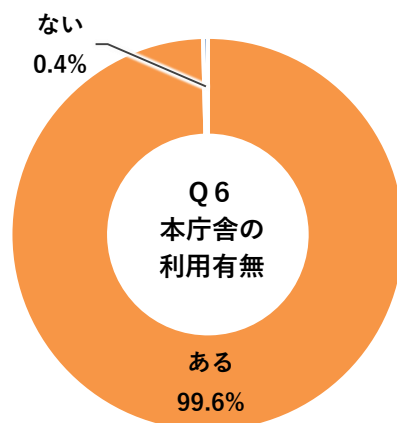
1 庁舎利用者の意向把握調査

Q5. あなたの苧田町での居住年数についてお答えください。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	1年未満	6	0.6%
2	1～5年未満	75	7.3%
3	5～10年未満	101	9.8%
4	10～20年未満	243	23.6%
5	20年以上	605	58.7%
a	有効回答者数(人)	1,030	100.0%
b	不明・無回答(人)	2	—
回答者数(人) a+b		1,032	



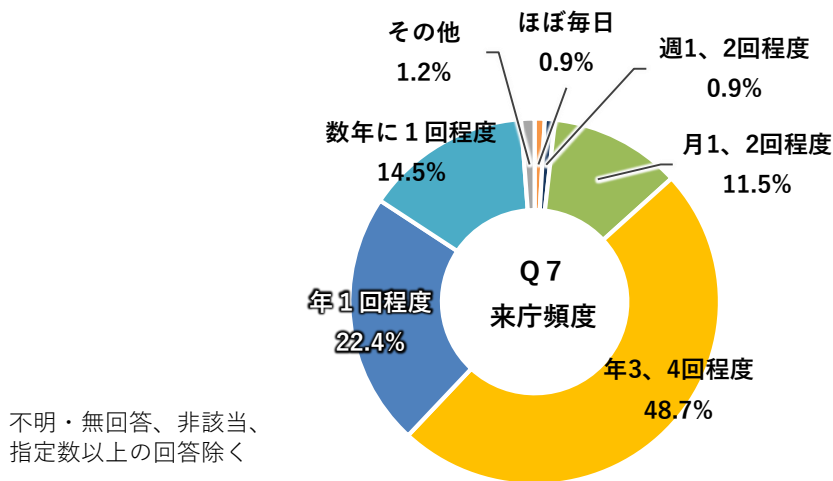
II 現在の庁舎の利用状況についてお聞きます

Q6. 過去に役場庁舎(本庁舎)を訪れたことはありますか。 (あてはまるもの1つ)		回答数	比率(%)
1	ある	1,027	99.6%
2	ない	4	0.4%
a	有効回答者数(人)	1,031	100.0%
b	不明・無回答(人)	1	—
回答者数(人) a+b		1,032	



回答者のほとんどが本庁舎を利用したことがある。

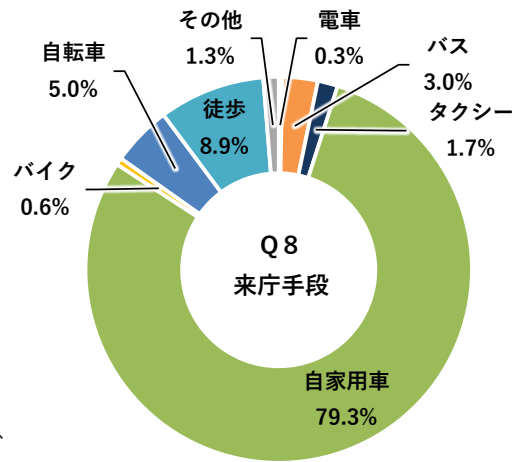
Q7.	役場庁舎(本庁舎)にはどれくらいの頻度で訪れますか。 (あてはまるもの1つ)	回答数	比率(%)
1	ほぼ毎日	9	0.9%
2	週1、2回程度	9	0.9%
3	月1、2回程度	117	11.5%
4	年3、4回程度	497	48.7%
5	年1回程度	228	22.4%
6	数年に1回程度	148	14.5%
7	その他	12	1.2%
a	有効回答者数(人)	1,020	100.0%
b	不明・無回答(人)	7	—
c	非該当(人)	4	—
d	指定数以上の回答(人)	1	—
回答者数(人) a+b+c+d		1,032	



役場庁舎に訪れる頻度として、「年3、4回程度」が最も多く、回答者の5割弱を占めている。
次いで「年1回程度」、「数年に1回程度」の頻度が多い。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q8.	主にどのような交通手段で役場庁舎(本庁舎)を訪れますか。 (あてはまるもの1つ)	回答数	比率(%)
1	電車	3	0.3%
2	バス	30	3.0%
3	タクシー	17	1.7%
4	自家用車	803	79.3%
5	バイク	6	0.6%
6	自転車	51	5.0%
7	徒歩	90	8.9%
8	その他	13	1.3%
a	有効回答者数 (人)	1,013	100.0%
b	不明・無回答(人)	6	—
c	非該当(人)	4	—
d	指定数以上の回答(人)	9	—
回答者数 (人) a+b+c+d		1,032	



役場庁舎を訪れるときの交通手段は、「自家用車」の利用が最も多く、回答者の8割弱を占めている。次いで「徒歩」、「自転車」の利用が多い。

Q9.	どのような用件で役場庁舎(本庁舎)を訪れますか。 (あてはまるものすべて)	回答数	比率(%)
1	戸籍や住民異動、印鑑等の登録や証明書、マイナンバーカードに関すること	846	83.3%
2	税金に関すること	256	25.2%
3	児童手当や保育園、幼稚園の子育てに関すること	133	13.1%
4	高齢者や障がい者等の福祉や介護保険に関すること	193	19.0%
5	国民健康保険や後期高齢者医療、国民年金に関すること	230	22.6%
6	健診やワクチン接種等の健康や保健に関すること	68	6.7%
7	ごみ袋等の環境や衛生に関すること	258	25.4%
8	水道や下水道に関すること	38	3.7%
9	公営住宅に関すること	13	1.3%
10	学校教育に関すること	34	3.3%
11	生涯学習やスポーツ、文化に関すること	32	3.1%
12	都市計画や道路、公園等に関すること	20	2.0%
13	農業や商工業に関すること	18	1.8%
14	自治会やまちづくりに関すること	29	2.9%
15	防災や防犯に関すること	18	1.8%
16	議会の傍聴など	10	1.0%
17	その他	68	6.7%
a	有効回答者数(人)	1,016	-
b	不明・無回答(人)	12	-
c	非該当(人)	4	-
回答者数(人) a+b+c		1,032	

Q9.来庁用件(あてはまるものすべて)

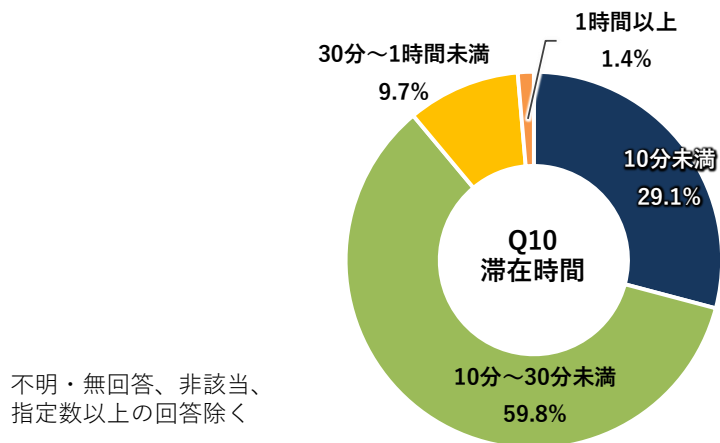


役場庁舎を訪れる用件として、「戸籍や住民異動、印鑑等の登録や証明書、マイナンバーカードに関すること」が目立って多い。

次いで、「ごみ袋等の環境や衛生に関すること」、「税金に関すること」が多い。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q10.	役場庁舎(本庁舎)を訪れたときの滞在時間はどのくらいですか。 (あてはまるもの1つ)	回答数	比率(%)
1	10分未満	297	29.1%
2	10分～30分未満	610	59.8%
3	30分～1時間未満	99	9.7%
4	1時間以上	14	1.4%
a	有効回答者数(人)	1,020	100.0%
b	不明・無回答(人)	7	—
c	非該当(人)	4	—
d	指定数以上の回答(人)	1	—
回答者数(人) a+b+c+d		1,032	



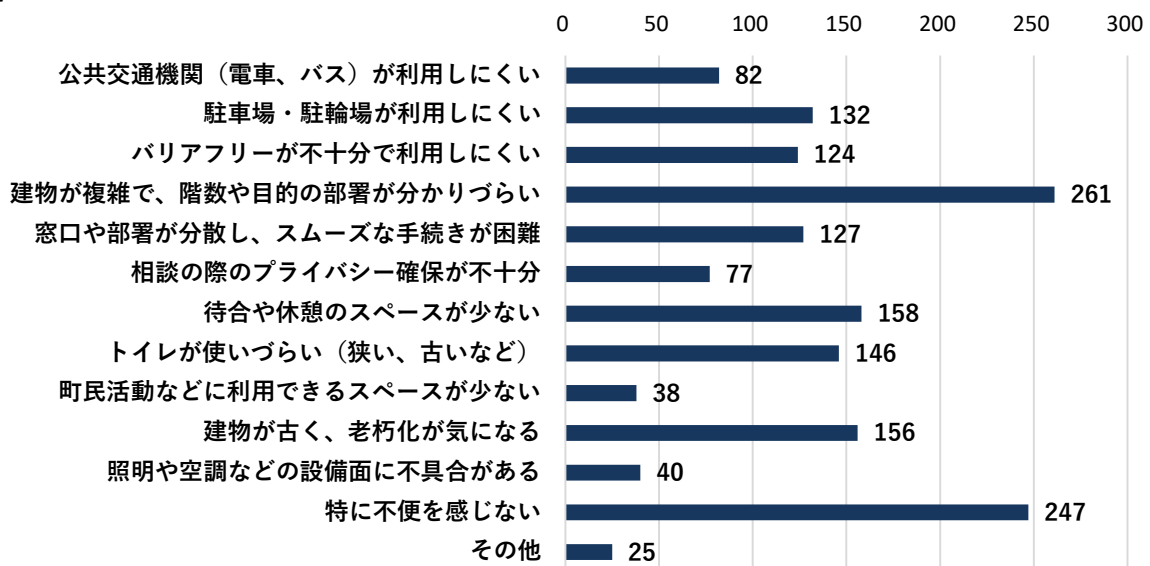
役場庁舎を訪れる際の滞在時間は、「10分～30分未満」の利用が最も多く、回答者の6割を占めている。

また、ほとんどの滞在時間が1時間以内に留まっている状況である。

Q11.	役場庁舎(本庁舎)を利用して不便に感じたことがありますか。 (あてはまるもの3つまで)	回答数	比率(%)
1	公共交通機関(電車、バス)が利用しにくい	82	9.5%
2	駐車場・駐輪場が利用しにくい	132	15.3%
3	バリアフリーが不十分で利用しにくい	124	14.4%
4	建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい	261	30.2%
5	窓口や部署が分散し、スムーズな手続きが困難	127	14.7%
6	相談の際のプライバシー確保が不十分	77	8.9%
7	待合や休憩のスペースが少ない	158	18.3%
8	トイレが使いづらい(狭い、古いなど)	146	16.9%
9	町民活動などに利用できるスペースが少ない	38	4.4%
10	建物が古く、老朽化が気になる	156	18.1%
11	照明や空調などの設備面に不具合がある	40	4.6%
12	特に不便を感じない	247	28.6%
13	その他	25	2.9%
a	有効回答者数(人)	863	-
b	不明・無回答(人)	117	-
c	非該当(人)	4	-
d	指定数以上の回答(人)	48	-
回答者数(人) a+b+c+d		1,032	

※Web アンケート回答フォームにて質問 11 が一時的に非表示で「117 人」が回答を行えなかった為、b.不明に計上。

Q11. 役場庁舎で不便に感じたこと(3つまで選択可)



不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

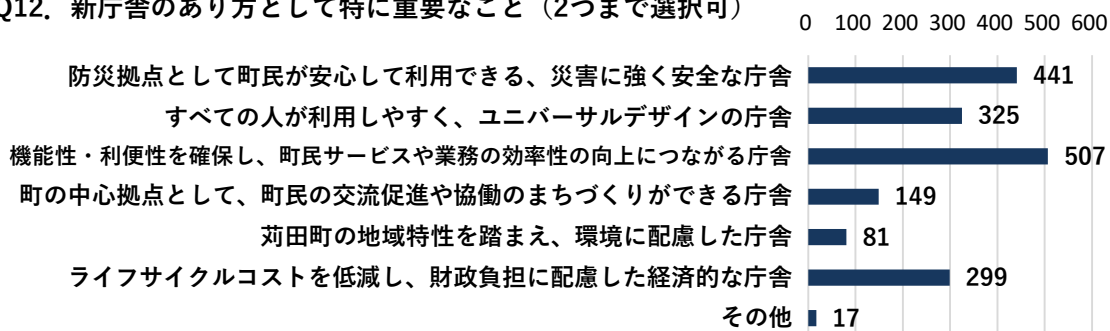
役場庁舎を訪れて不便に感じたこととして、「建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい」との回答が最も多く、次いで「特に不便を感じない」との回答が目立って多い。

「その他」では、「階段について」や、「利用時間について」、「照明について」の回答が多い。

Ⅲ 新庁舎建設の方向性についてお聞きします

Q12.	新庁舎建設にあたって、整備理念や新庁舎のあり方として、特に重要と思われる項目を選んでください。(あてはまるもの2つまで)	回答数	比率(%)
1	防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎	441	44.0%
2	すべての人が利用しやすく、ユニバーサルデザインの庁舎	325	32.4%
3	機能性・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎	507	50.5%
4	町の中心拠点として、町民の交流促進や協働のまちづくりができる庁舎	149	14.9%
5	苅田町の地域特性を踏まえ、環境に配慮した庁舎	81	8.1%
6	ライフサイクルコストを低減し、財政負担に配慮した経済的な庁舎	299	29.8%
7	その他	17	1.7%
a	有効回答者数(人)	1,003	-
b	不明・無回答(人)	17	-
c	指定数以上の回答(人)	12	-
回答者数(人) a+b+c		1,032	

Q12. 新庁舎のあり方として特に重要なこと(2つまで選択可)



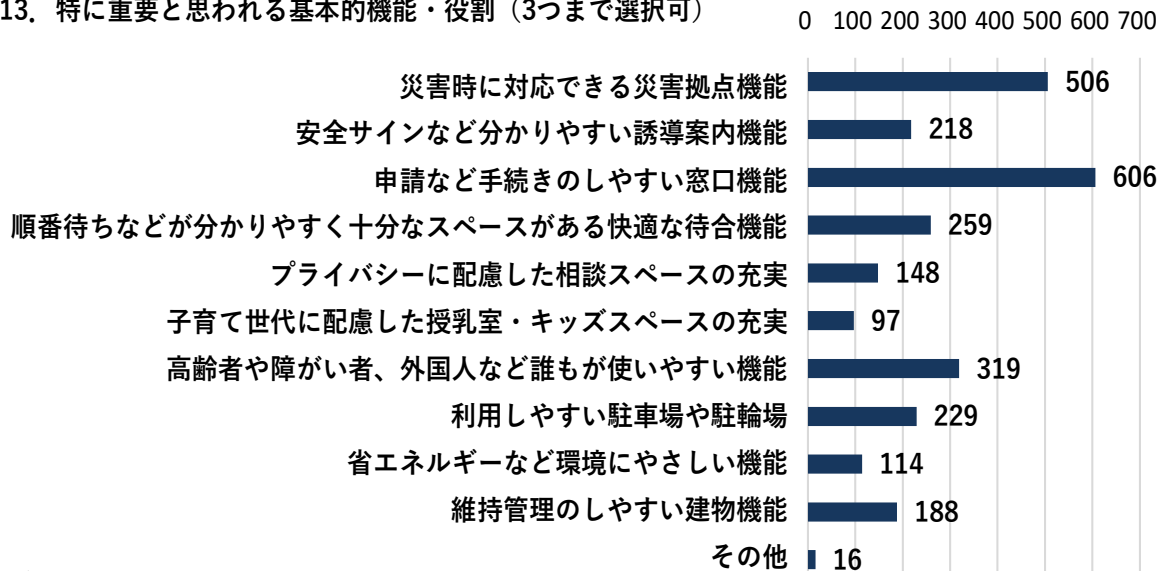
不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

新庁舎の整備理念やあり方で重要視する項目として、「機能性・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎」との回答が最も多く、次いで「防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎」との回答が多い。

「その他」では、「必要なし・現状維持」との回答が見られる。

Q13.	庁舎に必要な基本的な機能・役割として、特に重要と思われる項目を選んでください。(あてはまるもの3つまで)	回答数	比率(%)
1	災害時に対応できる災害拠点機能	506	50.2%
2	安全サインなど分かりやすい誘導案内機能	218	21.6%
3	申請など手続きのしやすい窓口機能	606	60.1%
4	順番待ちなどが分かりやすく十分なスペースがある快適な待合機能	259	25.7%
5	プライバシーに配慮した相談スペースの充実	148	14.7%
6	子育て世代に配慮した授乳室・キッズスペースの充実	97	9.6%
7	高齢者や障がい者、外国人など誰もが使いやすい機能	319	31.6%
8	利用しやすい駐車場や駐輪場	229	22.7%
9	省エネルギーなど環境にやさしい機能	114	11.3%
10	維持管理のしやすい建物機能	188	18.7%
11	その他	16	1.6%
a	有効回答者数(人)	1,008	-
b	不明・無回答(人)	13	-
c	指定数以上の回答(人)	11	-
回答者数(人) a+b+c		1,032	

Q13. 特に重要と思われる基本的機能・役割(3つまで選択可)



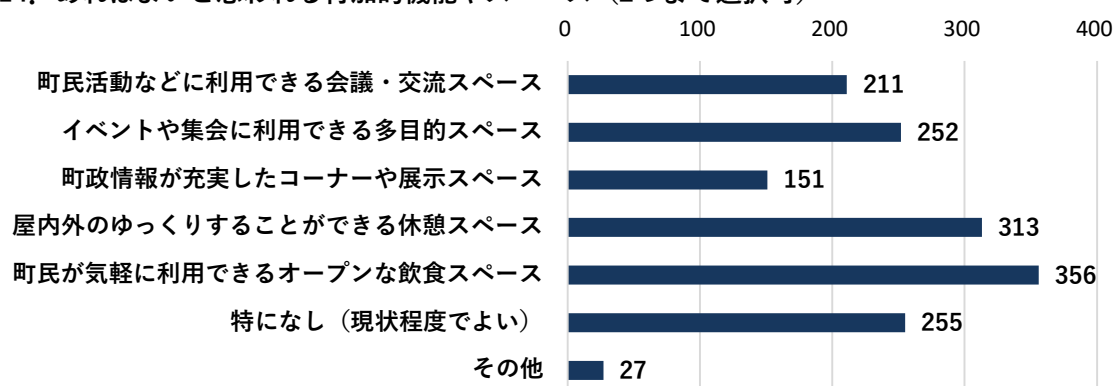
不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

庁舎に必要な基本的な機能・役割で特に重要視する項目として、「申請など手続きのしやすい窓口機能」との回答が最も多く、次いで「災害時に対応できる災害拠点機能」との回答が多い。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q14. 庁舎の付加的な機能・スペースとして、あればよいと思われるものを選んでください。(あてはまるもの2つまで)	回答数	比率(%)
1 町民活動などに利用できる会議・交流スペース	211	21.2%
2 イベントや集会に利用できる多目的スペース	252	25.3%
3 町政情報が充実したコーナーや展示スペース	151	15.1%
4 屋内外のゆっくりすることができる休憩スペース	313	31.4%
5 町民が気軽に利用できるオープンな飲食スペース	356	35.7%
6 特になし（現状程度でよい）	255	25.6%
7 その他	27	2.7%
a 有効回答者数（人）	997	—
b 不明・無回答（人）	23	—
c 指定数以上の回答(人)	12	—
回答者数（人） a+b+c	1,032	

Q14. あればよいと思われる付加的機能やスペース（2つまで選択可）



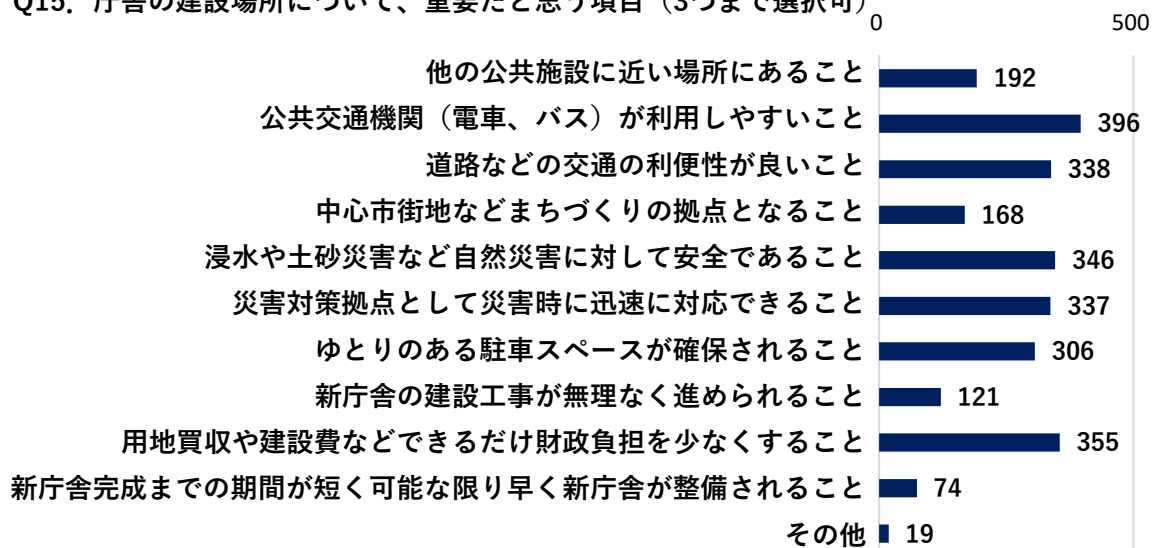
不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

庁舎にあればよいと思われる付加的な機能やスペースについて、どの項目も横並びになっているが、「町民が気軽に利用できるオープンな飲食スペース」との回答が最も多く、次いで「屋内外のゆっくりすることができる休憩スペース」との回答が多い。

「その他」では、「必要なし・最低限」との回答や、「子ども用スペース」、「飲食スペース」に関する回答が見られる。

Q15.	庁舎の建設場所について、特に重要だと思う項目を選んでください。 (あてはまるもの3つまで)	回答数	比率(%)
1	他の公共施設に近い場所にあること	192	19.1%
2	公共交通機関（電車、バス）が利用しやすいこと	396	39.3%
3	道路などの交通の利便性が良いこと	338	33.6%
4	中心市街地などまちづくりの拠点となること	168	16.7%
5	浸水や土砂災害など自然災害に対して安全であること	346	34.4%
6	災害対策拠点として災害時に迅速に対応できること	337	33.5%
7	ゆとりのある駐車スペースが確保されること	306	30.4%
8	新庁舎の建設工事が無理なく進められること	121	12.0%
9	用地買収や建設費などできるだけ財政負担を少なくすること	355	35.3%
10	新庁舎完成までの期間が短く可能な限り早く新庁舎が整備されること	74	7.3%
11	その他	19	1.9%
a	有効回答者数（人）	1,007	—
b	不明・無回答（人）	17	—
c	指定数以上の回答(人)	8	—
回答者数（人） a+b+c		1,032	

Q15. 庁舎の建設場所について、重要だと思う項目（3つまで選択可）



不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

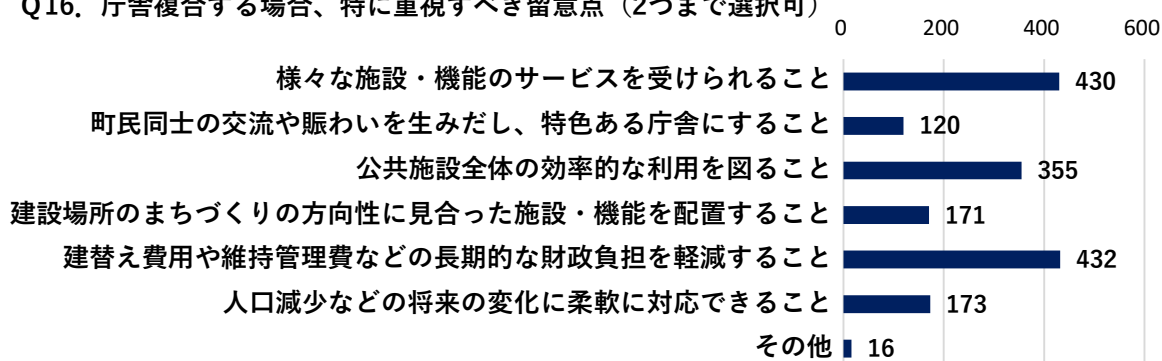
庁舎の建設場所について重要視する項目として、どの項目も横並びになっているが、「公共交通機関（電車、バス）が利用しやすいこと」との回答が最も多く、次いで「用地買収や建設費などできるだけ財政負担を少なくすること」との回答が多い。

「その他」では、「現在の位置または付近」との回答や、「コストパフォーマンス」に関する回答、「公園」などの回答が見られる。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q16.	庁舎を複合化する場合の留意点として、特に重視すべきだと思う項目を選んでください。(あてはまるもの2つまで)	回答数	比率(%)
1	様々な施設・機能のサービスを受けられること	430	46.0%
2	町民同士の交流や賑わいを生みだし、特色ある庁舎にすること	120	12.8%
3	公共施設全体の効率的な利用を図ること	355	38.0%
4	建設場所のまちづくりの方向性に見合った施設・機能を配置すること	171	18.3%
5	建替え費用や維持管理費などの長期的な財政負担を軽減すること	432	46.3%
6	人口減少などの将来の変化に柔軟に対応できること	173	18.5%
7	その他	16	1.7%
a	有効回答者数(人)	934	-
b	不明・無回答(人)	71	-
c	指定数以上の回答(人)	27	-
回答者数(人) a+b+c		1,032	

Q16. 庁舎複合する場合、特に重視すべき留意点(2つまで選択可)



不明・無回答、非該当、指定数以上の回答除く

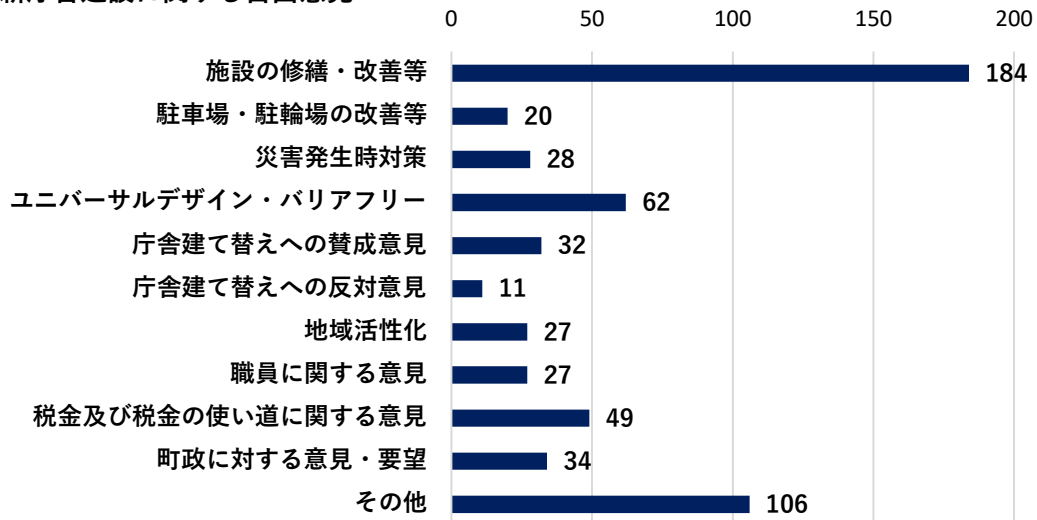
庁舎を複合する場合に重要視する項目として、「建替え費用や維持管理費などの長期的な財政負担を軽減すること」との回答が最も多く、次いで「様々な施設・機能のサービスを受けられること」との回答が多い。また、「公共施設全体の効率的な利用を図ること」との回答も一定数見られる。

「その他」では、「位置・場所」や、「縮小・簡素化」、「飲食・休憩スペース」に関する回答が見られる。

IV その他 自由なご意見など

Q17.	その他、庁舎建設に関してご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。	意見数	比率(%)
1	施設の修繕・改善等	184	31.7%
2	駐車場・駐輪場の改善等	20	3.4%
3	災害発生時対策	28	4.8%
4	ユニバーサルデザイン・バリアフリー	62	10.7%
5	庁舎建て替えへの賛成意見	32	5.5%
6	庁舎建て替えへの反対意見	11	1.9%
7	地域活性化	27	4.7%
8	職員に関する意見	27	4.7%
9	税金及び税金の使い道に関する意見	49	8.4%
10	町政に対する意見・要望	34	5.9%
11	その他	106	18.3%
意見数合計		580	100.0%

Q17. 新庁舎建設に関する自由意見



新庁舎の建設に対する自由意見について、「施設の修繕・改善等」に関する回答が目立って多い。その中でも「みんなが利用しやすい庁舎・利便性・機能性」を求める回答や、「憩いの場(公園・飲食店・コンビニ・展望台等設置)」、「自然を感じる・明るい・きれいな空間等」などの要望が多く見られる。その他、「ユニバーサルデザイン・バリアフリー」、「お年寄り・身障者への配慮」の意見が多く見られ、「税金及び税金の使い道に関する意見」では、「節税・節税不要・予算・建設費用について等」に関する意見、「町政に対する意見・要望」では、「その他町政全般・町長に対する意見」が見られる。「その他」では、「庁舎以外の施設への意見」についての意見が見られる。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q17. 現在の庁舎や庁舎整備に関する自由意見（キーワード一覧）

キーワード・項目	意見数	詳細	意見数	
1 施設の修繕・改善等	184	暗い・古い・汚い等	4	
		全館禁煙・完全分煙等	1	
		憩いの場(公園・飲食店・コンビニ・展望台等設置)	16	
		窓口や配置を分かりやすく	4	
		相談窓口設置への意見・要望・感想	13	
		自然を感じる・明るい・きれいな空間等	15	
		外観に関する意見	8	
		みんなが利用しやすい庁舎・利便性・機能性	58	
		web 申請・出張所等	3	
		土日祝開庁・開庁時間延長	3	
		SDGs	4	
		その他施設修繕、改善意見	55	
2 駐車場・駐輪場の改善等	20	雨の日不便（屋根等設置）、危ない等改善	1	
		その他駐車場・駐輪場の改善	19	
3 災害発生時対策	28	災害に強い庁舎・防災拠点としての対策	25	
		災害発生時も機能停止しないシステム	3	
4 ユニバーサルデザイン・バリアフリー	62	ユニバーサルデザイン・バリアフリー	23	
		キッズスペース・子連れ来庁者への配慮	11	
		お年寄り・身障者への配慮	28	
5 庁舎建て替えへの賛成意見	32	建て替え賛成	7	
		移転での建て替え賛成	2	
		公共交通機関・タクシー・自家用車等利便性考慮	10	
		同じ場所での建て替え賛成	13	
6 庁舎建て替えへの反対意見	11	建て替え反対・改装で十分	7	
		今ある庁舎・支所・施設を最大限に利用・活用する	4	
7 地域活性化	27	庁舎の複合化	26	
		特産品・土産・観光等	1	
8 職員に関する意見	27	対応が良い	4	
		対応が悪い	5	
		対応・業務等の改善の要望	18	
9 税金及び税金の使い道に関する意見	49	増税反対	2	
		節税・節税不要・予算・建設費用について等	47	
10 町政に対する意見・要望	34	職員数・人員削減に関する意見	4	
		その他町政全般・町長に対する意見	30	
11 その他	106	庁舎以外の施設への意見	49	
		その他意見・感想	57	
			合計（件）	580
			※回答者（人）	307

Q17. 現在の庁舎や庁舎整備に関する自由意見（キーワード別に見た主な意見）

キーワード・項目	主な意見(原文)
1 施設の修繕・改善等	<p>ワンフロアで大体の用件が済むよう、高層ではなく今くらいの階数で留めて頂きたいです。</p> <p>バーチャル化なども考えてコンパクトな庁舎も検討して欲しいです。</p> <p>みなさんが気持ちよく使える寄り道したくなるようなワクワクした場所にしてください。福岡にあるような図書や本屋とスターバックスコーヒーのコラボしたお店を中につけていただけると学生も集まると思います。</p> <p>庁舎建設にあたって、性別や国籍関係なく、誰もが利用しやすい庁舎を建設してほしいです。(省略)</p> <p>利用者が利用しやすく、働く人が快適に働けるようにそれを第一にお願いします。</p> <p>各年代の意見に耳を傾けた施設を望む。不要なスペース(年に数回程度しか活用されない)や装飾は極力排除し、シンプルで実用的かつ町民が使いやすい施設が良い。</p> <p>久留米市役所ではお昼になると市民の方も食券を買って、安くておいしい昼食お目当てでご夫婦とか家族で来られます。そういう場所はいかがでしょう。(省略)</p> <p>食事ができる様にしてほしい。(食堂など)</p> <p>明るく雰囲気良く、入りやすい庁舎を建ててほしいです。</p>
2 駐車場・駐輪場の改善等	<p>駐車場は今と同じくらいの台数は確保してほしい。</p> <p>職員の駐車場の占有面積が広すぎるのでコンパクトな駐車装置を設置してみてはどうか。</p> <p>確定申告時に三原文化会館に伺いましたが、三原文化会館側は駐車できる台数が少なく、駐車スペースでないところに駐車している方が多く、危ないと感じました。表、裏に駐車スペースを十分確保してほしい。(省略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員駐車場は会議の時などにしか使わないのであれば廃止。 ・三原文化会館前の駐車場は大雨の時いつも水があふれている。
3 災害発生時対策	<p>昨今の災害多発時代に備え、まずは防災拠点となるべきだと思います。特に耐震性には十分配慮する必要があると思います。備蓄スペースや一時避難スペース、避難時の男・女・子供の動線等、様々な配慮が必要に感じます。(省略)</p> <p>デザイン性よりも災害など起きた場合に対応出来るスペースに変更出来るような機能性ある物であってほしい。</p> <p>(省略)これからの庁舎は町民に安心感を与え、防災のシンボルとなる庁舎を建設して欲しい。この際、ハザードマップも見直して欲しい。</p>
4 ユニバーサルデザイン・バリアフリー	<p>視覚障害や身体的障害のある方、高齢の方にも使いやすい機能のある設計にしてくださいを切に希望します。(省略)</p> <p>玄関に入ってバリアフリーで、障害者、車いすの方、一階で用がすむ、トイレも広く車いすの方も利用出来ることの出来るトイレ。乳児のおむつ替えや授乳出来る部屋を確保する。(省略)</p> <p>全ての方が利用しやすいユニバーサルデザインの庁舎であってほしいなと思います。案内板等、見て分かる情報も大切ですし、視覚に障害がある方や文字を読みにくい方へ対応できる音声案内、点字ブロック等の配置も大切だと思います。(省略)</p> <p>高齢化が進んでいるので、高齢者でも解りやすく、安心して利用できる場所にして欲しいです。</p> <p>身体の不自由な方への配慮がわかりづらい。例えば階段など使わずに行動できる様な誘導方法をわかりやすく示して欲しい。</p> <p>(省略)子連れで行ける様に授乳室でオムツを替えられる様なベビーベッドも置いて欲しい。子供が遊べるスペースも作って頂けたら嬉しい。(省略)</p>
5 庁舎建て替えへの賛成意見	<p>新庁舎建設にあたって場所移動など無い様に希望します。</p> <p>・現状の状況で不便はないと思う。三原歴史も独立的建造物はそのままの位置が良いと思う。(省略)・他所に移転するよりも現在地を利用して欲しいと思います。(川があり楠の木遊歩道もあり景観が良い為)</p> <p>新庁舎は極力今と変わらない場所でお願したい。</p>

1 庁舎利用者の意向把握調査

キーワード・項目		主な意見(原文)
5	庁舎建て替えへの賛成意見	私の住んでいる所からは、役所、図書館がとても遠い。今は車が運転出来るからいいが公共交通機関で行く事になれば大変になる。場所が変わればいいです。 ※もう少し庁舎に行く交通の便を考えて頂きたい。 (省略)年をとって免許を返したりすることで、交通の便が悪くなった際に利用しづらい場所にならないことを願います
6	庁舎建て替えへの反対意見	庁舎は確かに老朽化していますが、その建て直しに多くの財政負担がかかるのでしたらあまり賛成はできません。それよりも子どもが安全にそして充実して遊べる施設や場所を(私自身は)確保して頂けることを願います。 正直言って新しくする必要性を感じない。 同じお金をかけるなら、一人暮らしのお年寄りが不便のない生活が出来る様にして欲しい。(省略) 苅田町には、町内に様々な施設があります。「総合保健福祉センター(愛称:パンジープラザ)」、「北公民館」等がありますが、どれも十分に活用出来ているとは言えないと思います。庁舎内の部署を分散設置させることで、小さな庁舎建設が十分できるのではないのでしょうか
7	地域活性化	現在、検討されている「複合化」は大変よいと思います。一ヶ所(庁舎)に行けば、全て間に合うという風にしたら本当に助かります(省略) パンジー、福祉会館、図書館、災害時の避難場所、広い駐車場、憩いの場所、会議室など、全ての施設が集まった全国どこにもない庁舎にして欲しい。 複合化することでの費用効果を住民にもわかるように説明し、新しい施設には、町内で最も人が来館する(利用される)にはどうしたらいいかを、官民で検討した方がよい。 ・複合化は良いと思う。老朽化するのも1カ所だけですむ。各場所だと費用がかかる。多く人が利用する場合、駐車場がない場合があるためしっかりと検討する必要がある。(省略)
8	職員に関する意見	職員の教育、利用者への対応を誠実に。お願いします。 いつも感じるのですが、接客するのに職員が目線が横向きに座っているので、気がつきにくいようです。何度か声掛けし、席を立ち慌てて来ます。お考えを要すると思われれます。すぐ近くの住民課はすぐ来てくれます。 庁舎建設についての前に現役場の雰囲気や暗い役場の人の対応があまりよくない。税金で人件費や運営費を使用しているのに思いやりや住民に対する対応が事務的で温かみがない。どの課に行ってもイメージが暗く話しにくい。もっと明るく新庁舎を建設する前に内側から直して欲しい。(省略) いつ訪問しても、どの担当者も丁寧に対応してくれて感謝しています。いつもありがとうございます。(省略)
9	税金及び税金の使い道に関する意見	新庁舎建設にあたり、財政面で町民に対して追加負担のない様にして下さい。 将来を見据えて経済的な建物を建築するよう努めて下さい。税金です。 建設費が税金であるということを肝に銘じて無駄な物やメンテコストが掛かる物は作らないようにしてほしい
10	町政に対する意見・要望	(省略)広場などゆとり出来るスペース、公園など。DX化を進めて、スムーズな窓口にしてほしい。 北九州から苅田町へ移住して、子育て中ですが、子供を遊ばせるための場所(施設)が苅田町はとて少ないと思います。(省略)北九州市や行橋市への人口流出を防ぐ為にも魅力的な子供向けの場所(施設)を作っていただきたいです。 無駄なコスト増をせず、最小限の維持で良い。人が対応しなくて良い方法で住民票がとれる仕組みがあるので今より小さくできるはず。人員も削減できるのでは?
11	その他	パンジープラザの維持管理費用がすごくかかると聞いたので新庁舎は機能性と維持管理に必要以上にお金がかからないようにして欲しい。(省略) 苅田駅前利用者が皆無な歩道橋等無駄な所に税金を使うのではなく、新庁舎では必要な設備を広く意見を取り入れてもらいたい。(省略)

※記入者数 307 名の意見の中からキーワードごとに抜粋

【参考】菟田町新庁舎建設に関するアンケート・町民アンケート 調査票

新庁舎建設に関するアンケート

新庁舎建設について皆さまのご意見をお聞かせください

日頃より、町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

菟田町役場の本庁舎は昭和46年に完成し、2回の増築を経て、現在に至っています。機能としては使用できる状態を維持しているものの、昭和56年に制定された新耐震基準以前の建物であることを踏まえ、令和2年度に策定された菟田町公共施設個別施設計画において、令和12年度までに建替えることが示されました。

本庁舎は、築52年を経過し、耐震性能の不足や施設・設備の老朽化が見られ、災害対応拠点としての耐震性能を有していません。また、施設内の狭あい化、ユニバーサルデザインやデジタル化への対応不足など、多くの課題を抱えている状況です。このような課題を踏まえ、災害に強く、利用するすべての人にやさしく、環境と共生しながらDXに対応した庁舎を目指して、現在町では、新庁舎建設基本構想の策定を進めています。

検討を進めるにあたり、本庁舎を利用される町民の皆さまのご意見・ご要望をお聞きし、参考とさせていただきます。アンケート調査を実施することとなりました。

お忙しいところは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程お願い申し上げます。



令和5年7月

菟田町長 遠田 孝一

- ・調査対象は、18歳以上の町民の中から2,500人を無作為抽出しました。
- ・この調査票に記入された内容について、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- ・それぞれの質問について、当てはまる項目の番号を○で囲んで回答してください。「あてはまるもの1つ」や「あてはまるもの3つまで」、「あてはまるものすべて」など、○をつける数に指定がありますので、指定された数に留意してご回答ください。
- ・記入された調査票は、**令和5年8月10日（木）**までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、最寄りの郵便ポストに投函してください。
- ・なお、この調査はウェブサイト上での回答も可能となっております。右のQRコードを読み取り、回答用パスワードを入力し、設問ごとの説明にしたがってご回答ください。QRコードからウェブサイト上でご回答いただいた場合、この調査票の郵便ポストへの投函は不要です。



https://www.town.kanda.lg.jp/_1032/_8187/_8328.html

回答用パスワード
kanda2023

【本調査についてのお問い合わせ先】

菟田町役場 財政課施設管理室 TEL：093-588-1405

1 庁舎利用者の意向把握調査

I あなたご自身のことについてお聞きします

質問1. あなたの性別についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|-------|-------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 |
|-------|-------|--------|

質問2. あなたの年齢についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|------------|---------|----------|
| 1. 18～20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

質問3. あなたの職業についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|-----------|--------------|-------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 自営業・会社役員 | 3. 会社員・団体職員 |
| 4. 公務員、教員 | 5. パート・アルバイト | 6. 専業主婦・主夫 |
| 7. 学生 | 8. 無職 | 9. その他() |

質問4. あなたのお住まいの地域(小学校区)についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|-----------------------------------|-----------|-----------|
| 1. 苅田小学校区 | 2. 馬場小学校区 | 3. 南原小学校区 |
| 4. 与原小学校区 | 5. 片島小学校区 | 6. 白川小学校区 |
| 7. 校区が分からない場合はお住まいの地域名をご記入ください() | | |

質問5. あなたの苅田町での居住年数についてお答えください。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～20年未満 | 5. 20年以上 | |

II 現在の庁舎の利用状況についてお聞きします

質問6. 過去に役場庁舎(本庁舎)を訪れたことがありますか。(あてはまるもの1つ)

- | | |
|-------|-------------------------|
| 1. ある | 2. ない → 「質問12」からお答えください |
|-------|-------------------------|



質問7. 役場庁舎(本庁舎)にはどれくらいの頻度で訪れますか。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週1、2回程度 | 3. 月1、2回程度 |
| 4. 年3、4回程度 | 5. 年1回程度 | 6. 数年に1回程度 |
| 7. その他 () | | |

質問8. 主にどのような交通手段で役場庁舎(本庁舎)を訪れますか。(あてはまるもの1つ)

- | | | |
|------------|--------|---------|
| 1. 電車 | 2. バス | 3. タクシー |
| 4. 自家用車 | 5. バイク | 6. 自転車 |
| 7. 徒歩 | | |
| 8. その他 () | | |

質問9. どのような用件で役場庁舎(本庁舎)を訪れますか。(あてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| 1. 戸籍や住民異動、印鑑等の登録や証明書、マイナンバーカードに関すること | |
| 2. 税金に関すること | |
| 3. 児童手当や保育園、幼稚園等の子育てに関すること | |
| 4. 高齢者や障がい者等の福祉や介護保険に関すること | |
| 5. 国民健康保険や後期高齢者医療、国民年金に関すること | |
| 6. 健診やワクチン接種等の健康や保健に関すること | |
| 7. ごみ袋等の環境や衛生に関すること | 8. 水道や下水道に関すること |
| 9. 公営住宅に関すること | 10. 学校教育に関すること |
| 11. 生涯学習やスポーツ、文化に関すること | 12. 都市計画や道路、公園等に関すること |
| 13. 農業や商工業に関すること | 14. 自治会やまちづくりに関すること |
| 15. 防災や防犯に関すること | 16. 議会の傍聴など |
| 17. その他 () | |

質問10. 役場庁舎(本庁舎)を訪れたときの滞在時間はどのくらいですか。(あてはまるもの1つ)

※滞在時間が用件によって異なる場合は、平均的な時間をお答えください

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 10分未満 | 2. 10分～30分未満 |
| 3. 30分～1時間未満 | 4. 1時間以上 |

質問11. 役場庁舎(本庁舎)を利用して不便に感じたことがありますか。(あてはまるもの3つまで)

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 公共交通機関(電車、バス)が利用しにくい | 2. 駐車場・駐輪場が利用しにくい |
| 3. バリアフリーが不十分で利用しにくい | 4. 建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい |
| 5. 窓口や部署が分散し、スムーズな手続きが困難 | 6. 相談の際のプライバシー確保が不十分 |
| 7. 待合や休憩のスペースが少ない | 8. トイレが使いづらい(狭い、古いなど) |
| 9. 町民活動などに利用できるスペースが少ない | 10. 建物が古く、老朽化が気になる |
| 11. 照明や空調などの設備面に不具合がある | 12. 特に不便に感じない |
| 13. その他 () | |

III 新庁舎建設の方向性についてお聞きします

質問 12. 新庁舎建設を進めるにあたって、整備理念や新庁舎のあり方として、特に重要と思われる項目を選んでください。(あてはまるもの2つまで)

1. 防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎
2. すべての人が利用しやすく、ユニバーサルデザインの庁舎
3. 機能性・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎
4. 町の中心拠点として、町民の交流促進や協働のまちづくりができる庁舎
5. 苅田町の地域特性を踏まえ、環境に配慮した庁舎
6. ライフサイクルコストを低減し、財政負担に配慮した経済的な庁舎
7. その他 ()

質問 13. 庁舎に必要な基本的な機能・役割として、特に重要と思われる項目を選んでください。(あてはまるもの3つまで)

1. 災害時に対応できる災害対応拠点機能
2. 案内サインなど分かりやすい誘導案内機能
3. 申請など手続きのしやすい窓口機能
4. 順番待ちなどが分かりやすく十分なスペースがある快適な待合機能
5. プライバシーに配慮した相談スペースの充実
6. 子育て世代に配慮した授乳室・キッズスペースの充実
7. 高齢者や障がい者、外国人など誰もが使いやすい機能
8. 利用しやすい駐車場や駐輪場
9. 省エネルギーなど環境にやさしい機能
10. 維持管理のしやすい建物機能
11. その他 ()

質問 14. 庁舎の付加的な機能・スペースとして、あればよいと思われるものを選んでください。(あてはまるもの2つまで)

1. 町民活動などに利用できる会議・交流スペース
2. イベントや集会に利用できる多目的スペース
3. 町政情報が充実したコーナーや展示スペース
4. 屋内外のゆっくりすることができる休憩スペース
5. 町民が気軽に利用できるオープンな飲食スペース
6. 特になし(現状程度でよい)
7. その他 ()

質問 15. 庁舎の建設場所について、特に重要だと思う項目を選んでください。
(あてはまるもの3つまで)

1. 他の公共施設に近い場所にあること
2. 公共交通機関（電車、バス）が利用しやすいこと
3. 道路などの交通の利便性が良いこと
4. 中心市街地などまちづくりの拠点となること
5. 浸水や土砂災害などの自然災害に対して安全であること
6. 災害対策拠点として災害時に迅速に対応できること
7. ゆとりのある駐車場スペースが確保されること
8. 新庁舎の建設工事が無理なく進められること
9. 用地買収や建設費などできるだけ財政負担を少なくすること
10. 新庁舎完成までの期間が短く可能な限り早く新庁舎が整備されること
11. その他（ ）

質問 16. 庁舎を複合化する場合の留意点として、特に重視すべきだと思う項目を選んでください。(あてはまるもの2つまで)

※回答の参考として、庁舎の複合化に関する現在までの検討内容や考え方について、下記の破線枠内をご覧ください。選択肢は次のページにあります。

【複合化について】

- 「刈田町公共施設個別施設計画（令和3年3月策定）」において、下表のとおり施設の複合化（統合）の方針を示しました。
- 役場庁舎、三原文化会館、歴史資料館の3施設は、現在隣接していることによる一体的な整備の可能性や、現状の利用スペースの過不足解消のための適正な面積規模等といった複合化の実現性を検討しました。

施設	現状	刈田町公共施設個別施設計画における短期・中期的方針
役場庁舎	・老朽化している ・時間帯によっては会議室が不足する事態が頻発	現在の老朽度を鑑み、令和10～12年頃に庁舎の建て替えを行う。その際、周辺の類似施設との統合を検討する。
三原文化会館	・老朽化している ・役場の会議室不足を補う施設 ・民間企業等も利用できる唯一の公共施設	新庁舎へ機能を統合する。
歴史資料館	・老朽化している ・史跡近接地に位置している ・文化財に係る収蔵庫（倉庫）も老朽化及び不足している ・展示スペースが不足している	新庁舎へ機能を統合する。
小波瀬水防倉庫	・防災資材等を保管している	災害時の拠点となる新庁舎敷地内に統合する。
失業対策事業詰所・勤労者休憩所	・現在は、建設関連の資材・車両等の倉庫として利用	新庁舎に統合する。

- 現在、庁舎整備に向けた基本構想においては、上記の施設だけでなく、そのほかの施設との複合化の可能性も併せて検討しています。今後の検討の参考として、庁舎の複合化に関する皆さまの考え方をお聞かせください。

【参考】苅田町新庁舎建設に関するアンケート・意見投書箱 調査票

意見投書箱記入用紙

本庁舎配布

意見投書箱

苅田町新庁舎建設について、皆さまのご意見をお聞かせください！

日頃より、町政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

苅田町役場本庁舎は、築 52 年を経過し、耐震性能の不足をはじめ、施設内の狭あい化、ユニバーサルデザインやデジタル化への対応不足など多くの課題を抱えていることから、現在町では、新庁舎建設に向けた検討を進めています。

庁舎を日頃利用されている町民の皆さまにおいて、お気づきの点や新庁舎へのご意見などがありましたら記入いただき、横にある意見投書箱に入れてください。

お忙しいところは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程お願い申し上げます。

皆さまから頂きましたご意見は、新庁舎建設基本構想・計画の検討において参考にさせていただきます。



1. 現在の役場（本庁舎）を訪れて、施設面で不便に感じたことをご記入ください。

(記入欄)

2. 新庁舎の検討を進めるにあたり、施設への要望や期待することをご記入ください。

(記入欄)

あてはまる項目を○で囲んでください。

【性別】 男 ・ 女 ・ その他

【年齢】 10 歳代 ・ 20 歳代 ・ 30 歳代 ・ 40 歳代 ・ 50 歳代 ・ 60 歳代 ・ 70 歳代以上

ご協力ありがとうございました。記入した用紙は横にある意見投書箱に投函してください。

【意見投書箱についてのお問い合わせ先】 苅田町 財政課施設管理室 TEL：093-588-1405

1 庁舎利用者の意向把握調査

(2) 新庁舎建設に関するアンケート調査（職員アンケート）

■ 調査概要

調査	職員アンケート
調査目的	苅田町新庁舎建設基本構想の策定にあたり、現庁舎の利用実態や課題、新庁舎に求められる機能、複合化に関する考え方等について、実際に庁舎を利用する職員目線での意見を把握するために実施。
調査対象者	苅田町役場出向者・消防を除く職員
調査期間	令和5年(2023年)7月25日(火)～8月10日(木)
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査票(回答フォーム)配信 選択回答式(一部自由記述式)
設問概要	<ul style="list-style-type: none"> 現庁舎について (町民・職員が利用する空間において不便に感じる点) 新庁舎整備の方向性 (整備理念・あり方、基本的・付加的な機能・スペース、建設場所、複合化) ご意見・要望(自由記述)

<調査票イメージ>

新庁舎に関する第1回職員アンケート（回答時間：10分程度）

入力状況 40%

回答入力フォーム

II 現在の庁舎の利用状況についてお聞きします

質問4 町民が利用する空間の不便な点 ※複数

現庁舎の窓口など町民が利用する空間について、不便に感じることは何ですか。（あてはまるもの4つまで）

- 1. 公共交通機関(電車、バス)が利用しにくい
- 2. 駐車場・駐輪場が利用しにくい
- 3. バリアフリーが不十分で利用しにくい
- 4. 建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい
- 5. 窓口や部署が分散し、スムーズな手続きが困難
- 6. 相談の際のプライバシー確保が不十分
- 7. 待合や休憩のスペースが少ない
- 8. トイレが使づらい(狭い、古いなど)
- 9. 町民活動などに利用できるスペースが少ない
- 10. 建物が古く、老朽化が気になる
- 11. 照明や空調などの設備面に不具合がある
- 12. 特に不便に感じない
- 13. わからない
- 14. その他

新庁舎に関する第1回職員アンケート（回答時間：10分程度）

入力状況 60%

回答入力フォーム

III 新庁舎建設の方向性についてお聞きします

質問6 整備理念や新庁舎のあり方 ※複数

新庁舎建設を進めるにあたって、整備理念や新庁舎のあり方として、特に重要と思われる項目を選んでください。（あてはまるもの2つまで）

- 1. 防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎
- 2. すべての人が利用しやすく、ユニバーサルデザインの庁舎
- 3. 機能的・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎
- 4. 町の中心拠点として、町民の交流促進や協働のまちづくりができる庁舎
- 5. 苅田町の地域特性を踏まえ、環境に配慮した庁舎
- 6. ライフサイクルコストを低減し、財政負担に配慮した経済的な庁舎
- 7. その他

質問6-2 整備理念や新庁舎のあり方についての自由意見 ※複数

選択された回答の補足やご意見等がありましたら、入力してください。

0/400

質問7 庁舎に必要な基本的な機能・役割 ※複数

庁舎に必要な基本的な機能・役割として、特に重要と思われる項目を選んでください。（あてはまるもの3つまで）

■ 調査結果

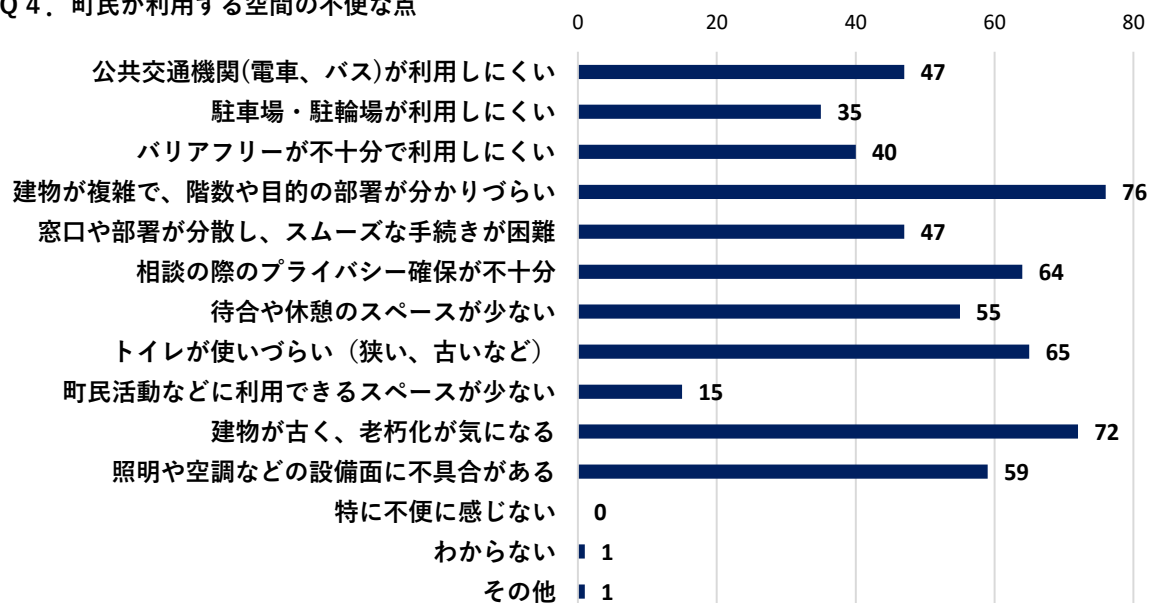
Ⅱ 現在の庁舎について

※個人の特定を避けるため属性部分(Q1～Q3)は省略しています。

Q4.	現庁舎の窓口など町民が利用する空間について、特に不便あるいは問題があると感じることは何ですか。(4つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	公共交通機関(電車、バス)が利用しにくい	47	29.6%
2	駐車場・駐輪場が利用しにくい	35	22.0%
3	バリアフリーが不十分で利用しにくい	40	25.2%
4	建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい	76	47.8%
5	窓口や部署が分散し、スムーズな手続きが困難	47	29.6%
6	相談の際のプライバシー確保が不十分	64	40.3%
7	待合や休憩のスペースが少ない	55	34.6%
8	トイレが使いづらい(狭い、古いなど)	65	40.9%
9	町民活動などに利用できるスペースが少ない	15	9.4%
10	建物が古く、老朽化が気になる	72	45.3%
11	照明や空調などの設備面に不具合がある	59	37.1%
12	特に不便に感じない	0	0.0%
13	わからない	1	0.6%
14	その他	1	0.6%
有効回答者数(人)		159	

※比率は、有効回答者数に対する回答割合を示しています。

Q4. 町民が利用する空間の不便な点



町民が利用する空間で特に不便・問題がある点について、どの項目も横並びになっているが、「建物が複雑で、階数や目的の部署が分かりづらい」との回答が最も多く、次いで「建物が古く、老朽化が気になる」との回答が多い。

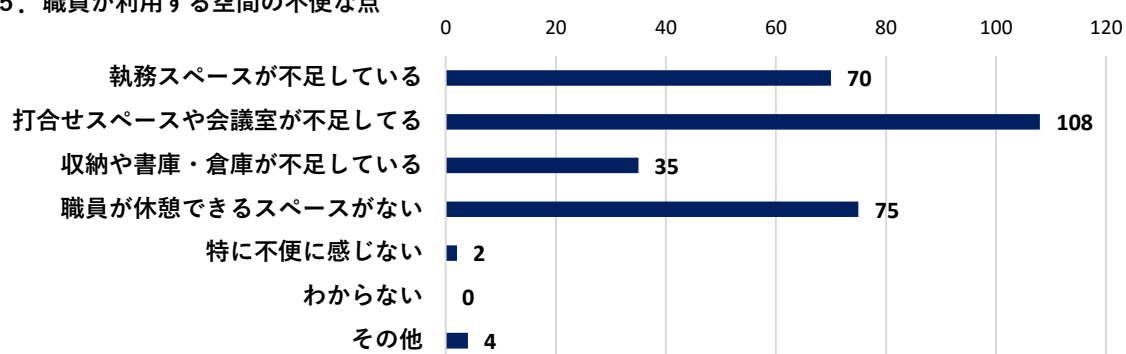
また、「トイレが使いづらい(狭い、古いなど)」、「相談の際のプライバシー確保が不十分」との回答も一定数見られる。

「その他」では、「すべての項目があてはまる」との意見が見られる。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q5.	現庁舎の職員の皆さまが利用する空間について、特に不便あるいは問題があると感じることは何ですか。(2つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	執務スペースが不足している	70	44.0%
2	打合せスペースや会議室が不足している	108	67.9%
3	収納や書庫・倉庫が不足している	35	22.0%
4	職員が休憩できるスペースがない	75	47.2%
5	特に不便に感じない	2	1.3%
6	わからない	0	0.0%
7	その他	4	2.5%
有効回答者数(人)		159	

Q 5. 職員が利用する空間の不便な点



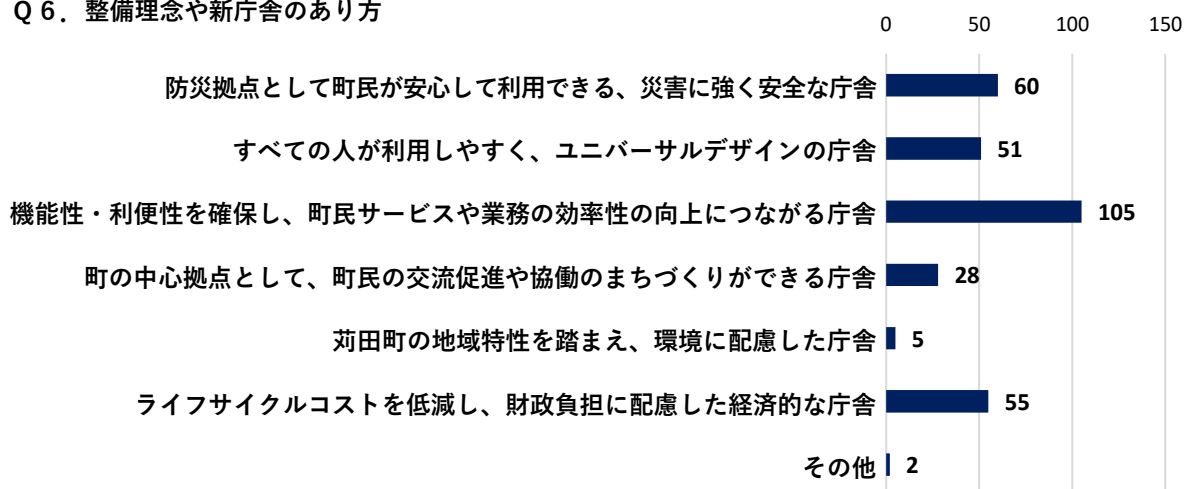
職員が利用する空間で特に不便・問題がある点について、「打合せスペースや会議室が不足している」との回答が最も多く、次いで「職員が休憩できるスペースがない」、「執務スペースが不足している」との回答が多い。

「その他」では、「トイレ」に関する意見が多い。

Ⅲ 新庁舎建設の方向性について

Q6.	新庁舎建設にあたって、整備理念や新庁舎のあり方として、特に重要と思われる項目を選んでください。(2つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎	60	37.7%
2	すべての人が利用しやすく、ユニバーサルデザインの庁舎	51	32.1%
3	機能性・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎	105	66.0%
4	町の中心拠点として、町民の交流促進や協働のまちづくりができる庁舎	28	17.6%
5	苅田町の地域特性を踏まえ、環境に配慮した庁舎	5	3.1%
6	ライフサイクルコストを低減し、財政負担に配慮した経済的な庁舎	55	34.6%
7	その他	2	1.3%
有効回答者数(人)		159	

Q 6. 整備理念や新庁舎のあり方



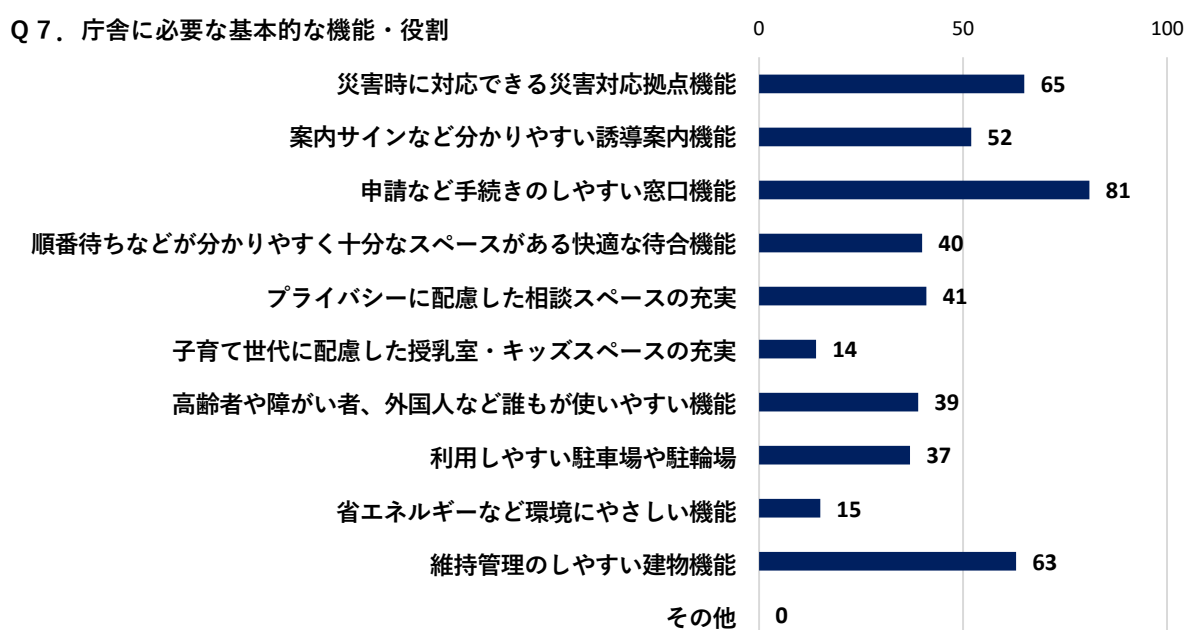
庁舎の整備理念や新庁舎のあり方について重要視する項目としては、「機能性・利便性を確保し、町民サービスや業務の効率性の向上につながる庁舎」との回答が最も多く、次いで「防災拠点として町民が安心して利用できる、災害に強く安全な庁舎」との回答が多い。

また、「ライフサイクルコストを低減し、財政負担に配慮した経済的な庁舎」との回答も一定数見られる。

「その他」では、「機構改革に対応できる庁舎」や「シンボルとなるような庁舎」との回答が見られる。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q7.	庁舎に必要な基本的な機能・役割として、特に重要と思われる項目を選んでください。(3つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	災害時に対応できる災害対応拠点機能	65	40.9%
2	案内サインなど分かりやすい誘導案内機能	52	32.7%
3	申請など手続きのしやすい窓口機能	81	50.9%
4	順番待ちなどが分かりやすく十分なスペースがある快適な待合機能	40	25.2%
5	プライバシーに配慮した相談スペースの充実	41	25.8%
6	子育て世代に配慮した授乳室・キッズスペースの充実	14	8.8%
7	高齢者や障がい者、外国人など誰もが使いやすい機能	39	24.5%
8	利用しやすい駐車場や駐輪場	37	23.3%
9	省エネルギーなど環境にやさしい機能	15	9.4%
10	維持管理のしやすい建物機能	63	39.6%
11	その他	0	0.0%
有効回答者数(人)		159	

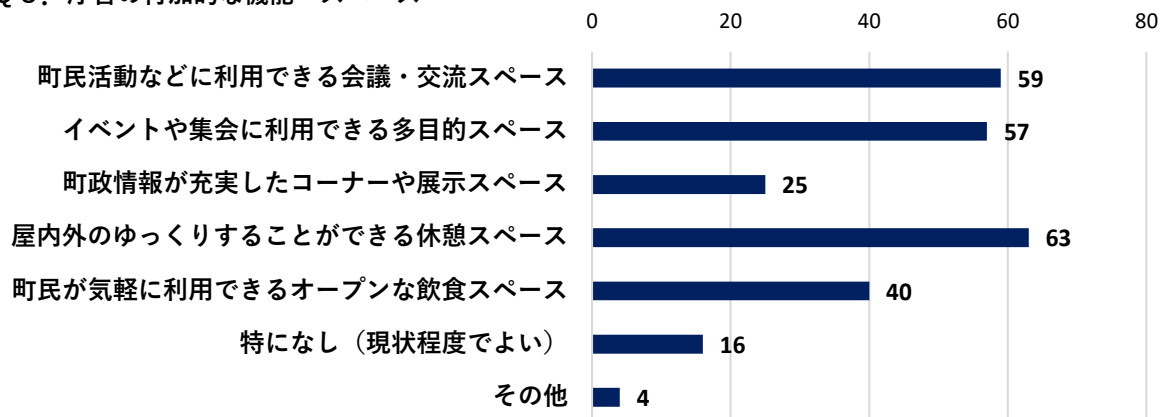


庁舎に必要な基本的な機能・役割について重要視する項目として、どの項目も横並びになっているが、「申請など手続きのしやすい窓口機能」との回答が最も多く、次いで「災害時に対応できる災害対応拠点機能」との回答が多い。

また、「維持管理のしやすい建物機能」との回答も一定数見られる。

Q8.	庁舎の付加的な機能・スペースとして、あればよいと思われるものを選んでください。(2つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	町民活動などに利用できる会議・交流スペース	59	37.1%
2	イベントや集会に利用できる多目的スペース	57	35.8%
3	町政情報が充実したコーナーや展示スペース	25	15.7%
4	屋内外のゆっくりすることができる休憩スペース	63	39.6%
5	町民が気軽に利用できるオープンな飲食スペース	40	25.2%
6	特になし（現状程度でよい）	16	10.1%
7	その他	4	2.5%
有効回答者数(人)		159	

Q 8. 庁舎の付加的な機能・スペース



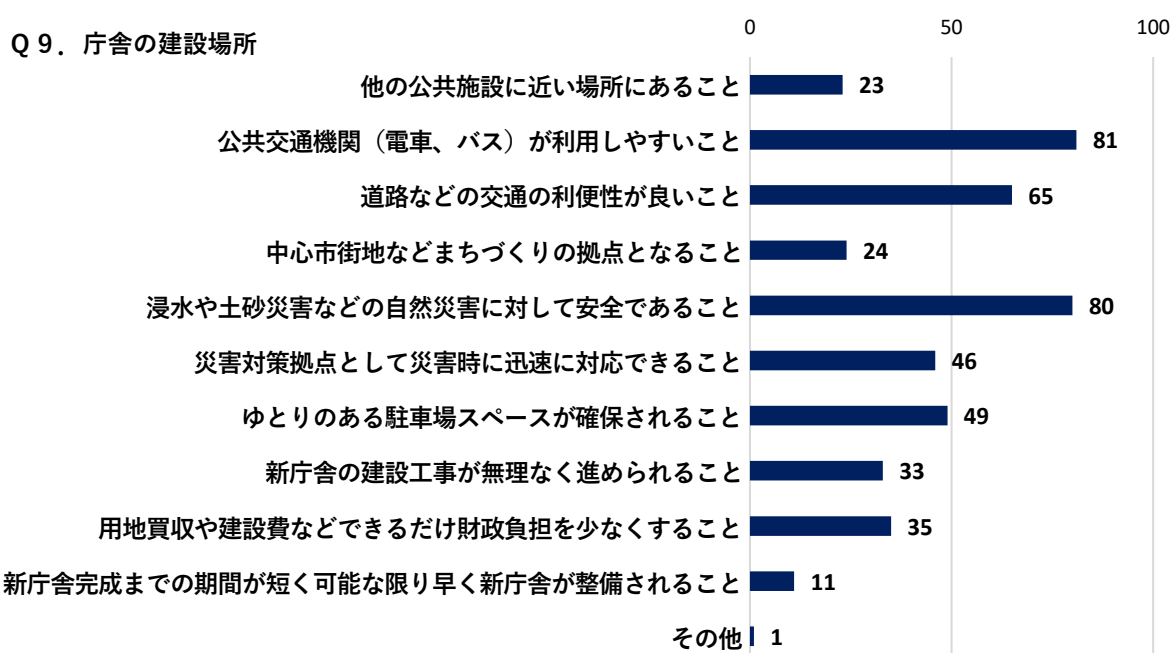
庁舎の付加的な機能・スペースについて重要視する項目として、どの項目も横並びになっているが、「屋内外のゆっくりすることができる休憩スペース」との回答が最も多く、次いで「町民活動などに利用できる会議・交流スペース」との回答が多い。

また、「イベントや集会に利用できる多目的スペース」との回答も一定数見られる。

「その他」では、「カフェや食堂」や、「複合化」、「学習スペース」、「コンビニ」等に関する意見が見られる。

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q9.	庁舎の建設場所について、特に重要だと思う項目を選んでください。 (あてはまるもの3つまで)	回答数	比率(%)
1	他の公共施設に近い場所にあること	23	14.5%
2	公共交通機関（電車、バス）が利用しやすいこと	81	50.9%
3	道路などの交通の利便性が良いこと	65	40.9%
4	中心市街地などまちづくりの拠点となること	24	15.1%
5	浸水や土砂災害などの自然災害に対して安全であること	80	50.3%
6	災害対策拠点として災害時に迅速に対応できること	46	28.9%
7	ゆとりのある駐車場スペースが確保されること	49	30.8%
8	新庁舎の建設工事が無理なく進められること	33	20.8%
9	用地買収や建設費などできるだけ財政負担を少なくすること	35	22.0%
10	新庁舎完成までの期間が短く可能な限り早く新庁舎が整備されること	11	6.9%
11	その他	1	0.6%
有効回答者数(人)		159	



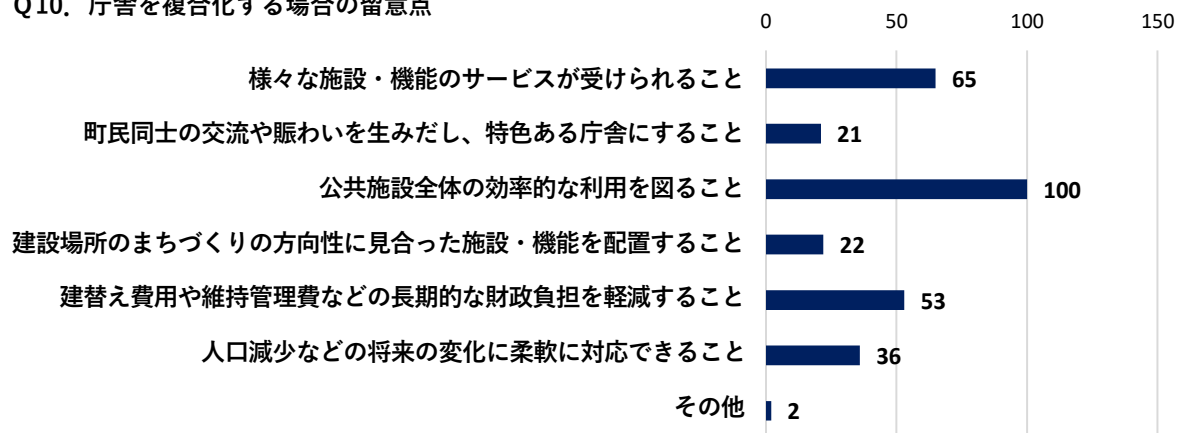
庁舎の建設場所について重要視する項目として、どの項目も横並びになっているが、「公共交通機関(電車、バス)が利用しやすいこと」との回答が最も多く、次いで「浸水や土砂災害など自然災害に対して安全であること」との回答が多い。

また、「道路などの交通の利便性が良いこと」との回答も一定数見られる。

「その他」では、「来庁者にとってわかりやすい場所」との回答が見られる。

Q10.	庁舎を複合化する場合の留意点として、特に重視すべきだと思う項目を選んでください。(2つまで選択可)	回答数	比率(%)
1	様々な施設・機能のサービスが受けられること	65	40.9%
2	町民同士の交流や賑わいを生みだし、特色ある庁舎にすること	21	13.2%
3	公共施設全体の効率的な利用を図ること	100	62.9%
4	建設場所のまちづくりの方向性に見合った施設・機能を配置すること	22	13.8%
5	建替え費用や維持管理費などの長期的な財政負担を軽減すること	53	33.3%
6	人口減少などの将来の変化に柔軟に対応できること	36	22.6%
7	その他	2	1.3%
有効回答者数(人)		159	

Q10. 庁舎を複合化する場合の留意点



庁舎を複合化する際に重要視する項目として、「公共施設全体の効率的な利用を図ること」との回答が最も多く、次いで「様々な施設・機能のサービスが受けられること」との回答が多い。「その他」では、「庁舎内のセキュリティ」や「利用者の目線に立った施設」に関する回答が見られる。

各設問における自由意見(キーワード別に見た主な意見)

Q4.町民が利用する空間の不便な点に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
ユニバーサルデザイン・バリアフリー	町民の利用頻度の高い部署が2階に集約されているため、ほとんどの利用者が必ず階段を利用しないといけない。移動円滑化の観点から1階にあった方がいいと思う。
	東側の出入口から入ってすぐの階段が不便。
	廊下が狭く、車いすの方やベビーカーを利用する方は本当に使いにくそうです。特に2階は車いすやベビーカーを置いたまま手続きを行うところなので余計に感じます。(省略)
建物の複雑さ・分かりにくさ	1階からエレベーターまでの導線が分かりにくく、遠い。
	地形を利用して建てられているため、利用者には階数が分かりづらい。
	各掲示物や案内等が統一されておらず、利用者の視線誘導・導線を意識していない。目の前に案内矢印があるのに迷っている人をよく見かける。
	各窓口が何の窓口なのかの視認性が悪いため、もっとわかりやすい表示を工夫する必要があると思う。
窓口・プライバシー	本庁とパンジープラザで子育てに関する手続きができる場所が分散されていて不便
	窓口がオープンすぎて相談業務に気を遣う。
	相談室が2つしかなく、全課共同利用である点が不便に感じる。
待合・休憩スペースの少なさ	待合フロアが住民課にしかない。
	休憩スペースが少ない
	2階南側フロアを除き、各課に訪問した来客者用の待ち場所や各種申請・閲覧等の場所が(2階町民ホールを除いて)ない。相互利用でもよいので各階ごとに設置されるとコミュニケーションがとりやすい。
設備の不具合	空調の効きが悪い。頻繁に稼働停止する。
	換気があまりよくないと感じた。
その他・印象等	庁舎が全体的に暗い雰囲気があり、イメージが悪く感じる。
	2階ロビーは天井も低いので圧迫感があります。

※記入者数 37 名・意見数 58 件の中からキーワードごとに抜粋

Q5.職員が利用する空間の不便な点に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
手狭・セキュリティ	全体的に手狭なため動きも取りづらく仕事しづらい。
	Web会議を自席で可能となるように、町民から職員の作業スペースが見えないようにしてもらいたい。また、個人情報の保護を優先するために、書類やパソコン画面が見えないようにするもの大事ではないか。
	執務室への出入りが容易で、関係者以外(用のない他課の人やOB)の出入りが頻繁にある。
確保困難・Web会議等への対応不足	会議や打合せを行うスペースが少ないため、急遽会議や打合せが必要になった際に、会場が確保できない。
	会議室や、執務室内の会議できる空間の確保が不十分に感じる。小スペースでもいいので、ミーティングできる場所が欲しい。
	コロナ前と違い、WEB会議を行う人が増えてきましたが、そのために会議室を予約することにより会議室の不足が起きています。
収納スペースの不足・その他への影響	ロッカールームを正常に使えるような空間にしてほしい。
	特に2階フロアでは書庫を置くスペースがなく、デスクや足周りにファイルを置いている。机についていると、後ろを人が通れないくらい狭い。
	相談室(人権男女共同参画室と人事担当の部屋の中の分)と倉庫が共用となって保管資料等で壁面が埋め尽くされており、相談中は物品や資料の取り出しに困っている。

キーワード・項目	主な意見(原文)
屋休憩	屋休憩を当番等でずらすと休憩するスペースがないので、裏でパタパタご飯を食べたり、窓口を気にしながら休憩したりしないといけない。 (省略)お昼など休憩時間に過ごせる場所がなく自席で食べるしかないがそれを町民に見られてしまう
	執務室の机上以外で飲食する場所がない。休憩室もあるが、一部の職員しか利用できないので、オープンに使用できる場所を確保して欲しい。
空調・トイレ・駐車場等 その他	執務室内の空調が老朽化していて、すぐに故障するため執務環境が良くない
	トイレが古い、汚い、音が筒抜け、数の不足 庁舎周辺の職員用駐車場が少ない。

※記入者数 37 名・意見数 59 件の中からキーワードごとに抜粋

Q6. 整備理念や新庁舎のあり方に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
防災拠点	大規模災害(南海トラフ地震)発生時などに、関係支援機関を受け入れ、被災・対応情報等の共有と迅速な指揮伝達等を確保できる統合的な環境構築が必要。 (省略)
	防災拠点については当然であると考えため、あえて掲げなくてよい。(省略)
やさしい	(省略)派手さで目立つのではなく、利用者にやさしいなどといった注目を集めてもらいたい。
機能性・利便性	庁舎は町民全ての方が利用する施設なので、機能性・利便性の確保が一番重要と考える。
シンボル	役場は町民のシンボルだという意識を醸成したい。そのための住民のための交流スペースやイベントコーナーなど住民が集う空間が欲しい。
環境	防災の拠点とすることにプラスして、ZEB 化された建物、環境学習の場としても利用可能なエネルギーが見える化された施設となると良いと思う。
コストパフォーマンス・ 維持管理	(省略)あまりにコスト削減を主とした建物だと使いづらさも出てくると思います。安ければいいというよりは、機能を向上させつつ、コストも考えるような方向性が必要だと思います。(省略)
	点検やメンテナンスのしやすい庁舎 特殊な材料を使わないほうが維持管理しやすいです
その他	民間活力の導入や、常識に囚われない発想で検討してほしい。
	他の公共施設との連携(集約、今ある施設での代用の可否)

※記入者数 20 名・意見数 24 件の中からキーワードごとに抜粋

Q7. 庁舎に必要な基本的な機能・役割に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
将来を見据えた検討	将来を見越した機能・性能を充実させた施設にした方がよいのではないかと思います。
	電子申請が普及すれば、来庁者数は減少することなど、可能な限り先を見据えた検討をお願いします。
	今後はAI等が充実していくが、それでも行政手続きが必要な方々でも気軽に利用しやすい庁舎が必要。
フレキシブル	増設など施設の機能変化に対応できる構造
	柔軟に部屋の区画割り(間仕切り)が変更できるように出入口、窓、配線、空調などに配慮する。
スムーズな手続き・ 丁寧な対応	利用者のスムーズな手続き。よくある利用手続きに係る時間をどれだけ短縮できるかで利便性の向上と職員の業務負担の軽減が図れる。
	DX により来庁者は減るが来られる人々は高齢者等丁寧な説明などの対応を要することが想定されるのでその対応に適した庁舎としなければならない
窓口機能	窓口は全体として個別ブースを設けるべき。その対応として、混雑回避のため相談・来庁予約ができるようにするべき。

※記入者数 18 名・意見数 25 件の中からキーワードごとに抜粋

1 庁舎利用者の意向把握調査

Q8. 庁舎の付加的な機能・スペースに関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
情報スペース	転入してこられた方などであまり苅田町のことを知らない人が、苅田町の情報を入力できるようなスペースはあった方がいいと思います。
オープンスペース	会議室を未使用時はオープンスペースにしたらどうか。
売店・コンビニ・郵便局・預かり保育 等	コンビニや小規模な小売スペースがあって、封筒やのりといった町民が申請時に使用するものが買えるといいと思う。また、町の特産品等を取り扱ってくれれば、町民及び職員が対外的に持参する際に便利だと思う。
	テナントとしてコンビニや金融機関を入れたら利が良いのでは。
	例えば、庁舎近くにある郵便局との複合施設ができると、役場としても郵便等の発送業務や指定金融等の取り扱い上でも利便性がありますし、利用者の方にとっても役場と郵便局が複合施設としてあると利便性が上がると思います。
	預かり保育を併設してほしい。
基本的機能の優先	三原文化会館の機能を役場に集約すれば、コスト縮減や利便性の確保につながるのでは
	庁舎に付加的な機能が合ったほうが良いとは思いますが、スペース的に制限があったり、通常業務に支障をきたすようなものであれば、庁舎とは別に考えた方がよいのではないかと思う。

※記入者数 17 名・意見数 19 件の中からキーワードごとに抜粋

Q9. 庁舎の建設場所に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
場所	建設場所としては、現在の場所が立地的に適していると考え 駅隣接が望ましいです。
誰でも利用しやすい	災害対策の拠点となる施設となることを考えると、災害に強い施設にするのは当然のことであり、また、自家用車を持たない方でも誰でも利用しやすい条件であることが必要ではないかと思う。
駐車場	車を利用する方が多いので、来庁者用の駐車スペースがきちんと確保できるように工夫が必要。(有料化して、庁舎利用者以外の方が占拠することのないようにするなど)

※記入者数 13 名・意見数 14 件の中からキーワードごとに抜粋

Q10. 庁舎を複合化する場合の留意点に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
考え方	小さな町なのでなるべく複合化したほうが良いと思います。 単に、あそこの施設は古く、庁舎にも近いから複合化しようという方向性ではなく、利用者の目線に立って、複合化を考えてほしいと思います。(省略)
ネットワーク	役場に行けば、すべての情報が迅速に収集できる。そのためのネットワーク化を図ること。
セキュリティ	来庁者の立入禁止区域の設定(セキュリティ)
懸念事項	三原文化会館や歴史資料館は新庁舎にその機能を有して統合することは可能であると考えますが、水防倉庫や失対事務所は新庁舎に統合してしまうと、それなりのスペースが必要になるのではないかと思う。イベントが催される際に準備の段階で駐車場が使用できない場合には失対の駐車場を使用したりしているが、不都合なケースも発生するのではないかと懸念している。

※記入者数 11 名・意見数 11 件の中からキーワードごとに抜粋

Q11. 新庁舎建設に関する自由意見(主な意見)

キーワード・項目	主な意見(原文)
利用者目線	子どもや若い人も利用できるオープンな場所があると全ての世代の方が来庁しやすい雰囲気になると思います。
	新しい建物を建てる時は、色んな方の意見があり集約が大変だと思います。職員も色んな要望があると思いますが、最も優先すべきは「利用者の満足度」だと思います。(省略)
	子どもから高齢者まであらゆる年代の方々が楽しく集い、交わり、つながり、苅田町を誇りに思えるシンボルとなるような庁舎を作っていただきたい。そのためには専門家の意見だけでなく、住民主役のワークショップ形式の意見交換を取り入れることで、さらに自治意識が醸成されるのではないかと思います。(省略)
	課の配置についても、各課ヒアリングしていただけるといいなと思います。
身の丈に合った・ 将来を見据えた検討	テレワーク業務を前提とした職場。
	庁舎は町のシンボリックな面がある一方、近年のデジタル化により省スペース化や複合化も可能となってきており、苅田町の身の丈に合った庁舎建設を要望します。
	マイナンバーの活用などで来庁せずに申請できる仕組みが整備されつつあり、デジタル化で書庫の問題も解決されつつある中、今後誰が庁舎を利用するのかをよく精査して、過不足のない建物を建設していただきたい。

※記入者数 23 名・意見数 28 件の中からキーワードごとに抜粋

1 庁舎利用者の意向把握調査

(3) 団体ヒアリング調査

■ 調査概要

調査	団体ヒアリング
調査目的	苅田町新庁舎建設基本構想の策定にあたり、現庁舎の利用実態や課題、新庁舎に求められる機能、望ましい庁舎のあり方等について、実際に庁舎を利用する団体の各分野の目線による詳細な意見・要望を把握するために実施。
調査対象者	町内各種団体(障がい者支援団体、子育て支援団体、外国人支援団体)
調査期間	令和5年(2023年)8月下旬～9月中旬
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 調査票(ヒアリングシート)配布 直接対面・ヒアリング形式(一部団体については記述回答)
設問概要	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の利用状況 (交通手段や利用場所など、普段の庁舎の利用状況について) 庁舎利用時の問題点・課題 (庁舎内部や屋外の具体的な場所、庁舎全体において不便に感じたこと) 望ましい庁舎のあり方・期待すること (新たに設置してほしいスペース・機能など、利用しやすい庁舎環境として望むこと) 今後のまちづくりへの貢献について (まちづくりへの貢献としてこんな庁舎・場所になってほしい等、庁舎整備に期待すること) その他・お気付きの点やご意見

■ 調査票 (ヒアリングシート)

苅田町新庁舎建設基本構想 団体ヒアリングシート

◆ ヒアリングの趣旨
 苅田町役場の本庁舎は昭和46年に完成し、2回の増築を経て、現在に至っています。機能としては使用できる状態を維持しているものの、昭和56年に制定された新耐震基準以前の建物であることを踏まえ、令和2年度に策定された苅田町公共施設個別施設設計画において、令和12年度までに建て替えを行うことが示されました。
 本庁舎は、築52年を経過し、耐震性の不足や施設・設備の老朽化が見られ、災害対応拠点としての耐震性を有していません。また、施設内の状況も、ユニバーサルデザインやデジタル化への対応不足など、多くの課題を抱えている状況です。このような課題を踏まえ、災害に強く、利用するすべての人にやさしく、環境と共生しながらDXに対応した庁舎を目指して、現在町では、新庁舎建設基本構想の策定を進めています。
 その中で、本庁舎を利用される各種団体の皆さまのご意見・ご要望を直接お聞きすることで、検討をさらに深めていくための参考とさせていただきます。ヒアリング調査を実施することとなりました。お忙しいところとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力の程お願い申し上げます。

◆ 現役場(本庁舎)の概要



名称	床面積	構造	階数	竣工年	築年数	状況
本庁舎	5975.77㎡	RC造	地上6階 PH1階	昭和46年5月 平成元年・12年増築	52年	鉄筋造・会議室・議場
プロパン庫	2.31㎡	CB造	平屋建て	昭和46年5月	52年	
車庫棟	445.00㎡	S造	平屋建て	昭和46年5月 昭和57年9月増築	52年	
倉庫	397.00㎡	S造	地上2階	昭和46年5月 増築年不明	52年	
土地区画整理事務所(別棟)	276.82㎡	LS造	地上2階	平成22年7月	13年	鉄筋造・会議室
合計	7096.90㎡					

RC造→鉄筋コンクリート造 S造→鉄骨造 LS造→軽量鉄骨造 CB造→コンクリートブロック造 PH→ペントハウス

◆ ヒアリング項目

1. 庁舎の利用状況について
2. 庁舎利用時における問題点や課題について
3. 望ましい庁舎のあり方・期待することについて
4. 今後のまちづくりへの貢献について
5. その他


 感心して考えなくて結構です。普段思っていることや悩んでいることをお聞かせください！

1. 庁舎の利用状況について

普段、どのように庁舎を利用されているかを教えてください。
 (交通手段)
 (利用場所：建物、廊下、スペース など)

2. 庁舎利用時の問題点や課題について

庁舎利用時に不便に感じたことなどについて、教えてください。
 (庁舎内部の具体的な場所や、駐車場などの屋外 など)
 例：目的の場所がわかりにくい。案内表示が少ない。
 (庁舎全体としてのこと)

3. 望ましい庁舎のあり方・期待することについて

団体の皆さんが便利で快適に使えるなど、利用しやすい庁舎環境として何を望みますか。
 (新たに設置してほしい室・スペースや、こんな機能があったらよいなど)
 例：休日でも利用できる会議室 (○) 教室等での利用
 (庁舎の場所や、庁舎全体について)

4. 今後のまちづくりへの貢献について

苅田のまちづくりへの貢献として、庁舎整備にどのようなことを期待しますか。
 (こんな庁舎・こんな場所になってほしい など)

5. その他

今後の庁舎整備に向けて、お気付きの点やご意見があれば、教えてください。

ご回答にご協力いただき、ありがとうございます！ヒアリングは以上です。
 皆さまのご意見・要望は、新庁舎建設基本構想・基本計画策定の参考とさせていただきます。

2

■ 調査結果

設問	ヒアリング対象	障がい者支援団体	子育て支援団体	外国人支援団体
1. 庁舎の利用状況について				
交通手段、 利用する場所等	<ul style="list-style-type: none"> 福祉、住民、税務などの用件で来庁。 来庁手段は自家用車。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体(園)としては、週 2,3 回の頻度で利用。 申請手続きや担当課との会議で来庁する。 年 1 回の大きな会議では、三原文化会館を利用する。 来庁手段は車。車利用者の視点で、現役場庁舎の位置は、渋滞が起こらず使いやすい場所だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 団体としては、技能実習生の入国・帰国時における各種登録申請手続き支援のために、月 1 回以上の頻度で利用。 英会話教室の事業実施について、役場の担当課と打合せを行うために、三原文化会館を利用するときがある。 主な来庁手段は車。技能実習生個人が来庁する際は自転車が多い。 	
2. 庁舎の問題点や課題について				
庁舎内の具体的な場所や、 駐車場を含む屋外、 庁舎全体としてのこと など	<ul style="list-style-type: none"> 階段が多い、見た目がかたい。 玄関から町民が入ってきても職員が気づかない。 各課の表示が見えない。 どこに何課があるかわからずうろろうする。 各課同士が書棚、柱で見えにくい。 照明は自然の明かりを十分に活かせるようにしてほしい。 裏の駐車場が狭い。不便で行きづらい。 表から入ると階段がきつく、エレベーター等分かりづらい。 1 階が地下のようで暗い印象。 	<ul style="list-style-type: none"> どこに何課があるか分からない。 案内図が分かりにくい。 施設全体が暗い印象。 エレベーターの位置が分かりにくい。 窓口が2階にあり、利用しづらい。 ベビーカー置き場の有無、場所が分からない。 子ども連れ利用者にとって手続きに集中しづらい設え。 子ども関連の手続き窓口が複数課にまたがり、町内の他施設に分散しているものもあり、手続きが大変。 三原文化会館側の駐車場が満車状態のことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 案内表示がない、案内カウンターで言葉が通じないなど、手続きを行う際にどこに行けば良いか分からない。 申請書類・案内がすべて日本語表記。多言語化の必要性。 バリアフリーの観点で、階段が多い点が気になる。 施設の古さを感じる。 休憩時間が重なり、平日の手続きが困難。 三原文化会館が何をしているところか分かりにくい印象。 	
3. 望ましい庁舎のあり方について				
新たに設置してほしい室・スペースや、 こんな機能があったらよい、 庁舎の場所や庁舎全体について など	<ul style="list-style-type: none"> 玄関から入ったらすべての課を見渡せるようにしてほしい。 明るく、わかりやすい庁舎 トイレを広く、障がい者も使いやすくしてほしい。トイレは窓がある方が良い。 少し大きめのホールがあると良い。 庁舎と三原文化会館を接続させ、教育委員会、町民会議、文化協会を入居させるのが良いではないか。 バンジーの中に今ある社協や福祉関係、会議室、その他の設備を庁舎の上の階や車庫上に移転してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉関連、子ども関連等、手続きの種類に応じて窓口が同じフロアにまとまっていると分かりやすい。 各課案内サイン、見通しが良く手続きの動線に沿った配置 窓口近くにキッズスペースを配置 分かりやすい場所に案内サイン付でベビーカー置き場や車いす数台を設置 駐車場の主要な動線に屋根付き通路やスペースを確保 自販機や小規模な売店、持参したものを飲食できるスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ピクトサイン、タッチパネルでの案内等が効果的。 大人数で利用する際にも対応できる広い待合スペース 簡単な打合せ等に使えるオープンスペース(机・椅子設置) 連絡手段としてアプリを利用するため、Free Wi-Fiは必須。 三原文化会館は、もっと気軽に利用できると良い。 	
4. 今後のまちづくりへの貢献について				
苅田のまちづくりへの貢献として、 庁舎整備にどのようなことを期待するか	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者作業所の作品展示、作品販売、障がい者の働く場の提供(コーヒーコーナー。小さな売店。障がい者に合った働く場、時間、設備を。) 	<ul style="list-style-type: none"> 町で相談に乗り、児童発達支援センターへ繋ぐ等の体制の構築 子育て支援関連手続きをひとまとまりにするなど、“住みやすいまち”をうたう苅田町に沿った方策・機能展開 外国人世帯が多く、今後も増えていく想定であることから、その点にも配慮できると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎は町の中心になる施設。国籍問わず、誰もが利用しやすい場所になってほしい。 国際交流を特色の一つとして取り入れるのはどうか。 例えばハザードマップなど、海外の方にとって理解が難しいものは多くある。安心して町で暮らしていくための情報を得られる場所があると良い。 	
5. その他				
その他、お気づきの点やご意見	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 式典等で 1,000 人を収容可能な京築唯一の施設が苅田町の中央公民館。1,000 人規模で利用できるのは、施設の広さだけでなく、現役場庁舎の東側駐車場があるからこそだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 町で実施する制度(給付制度等)について、アプリ等を用いて分かりやすくなると便利。 言葉やシステムの違いから、二世の教育について困っている人も多い印象。すぐに相談できるところがあると良い。 	

※この結果概要一覧は、ヒアリングにおいて実際に頂いたご意見の中から、主な意見・キーワードを抽出して整理しています。

2 基本構想参考資料

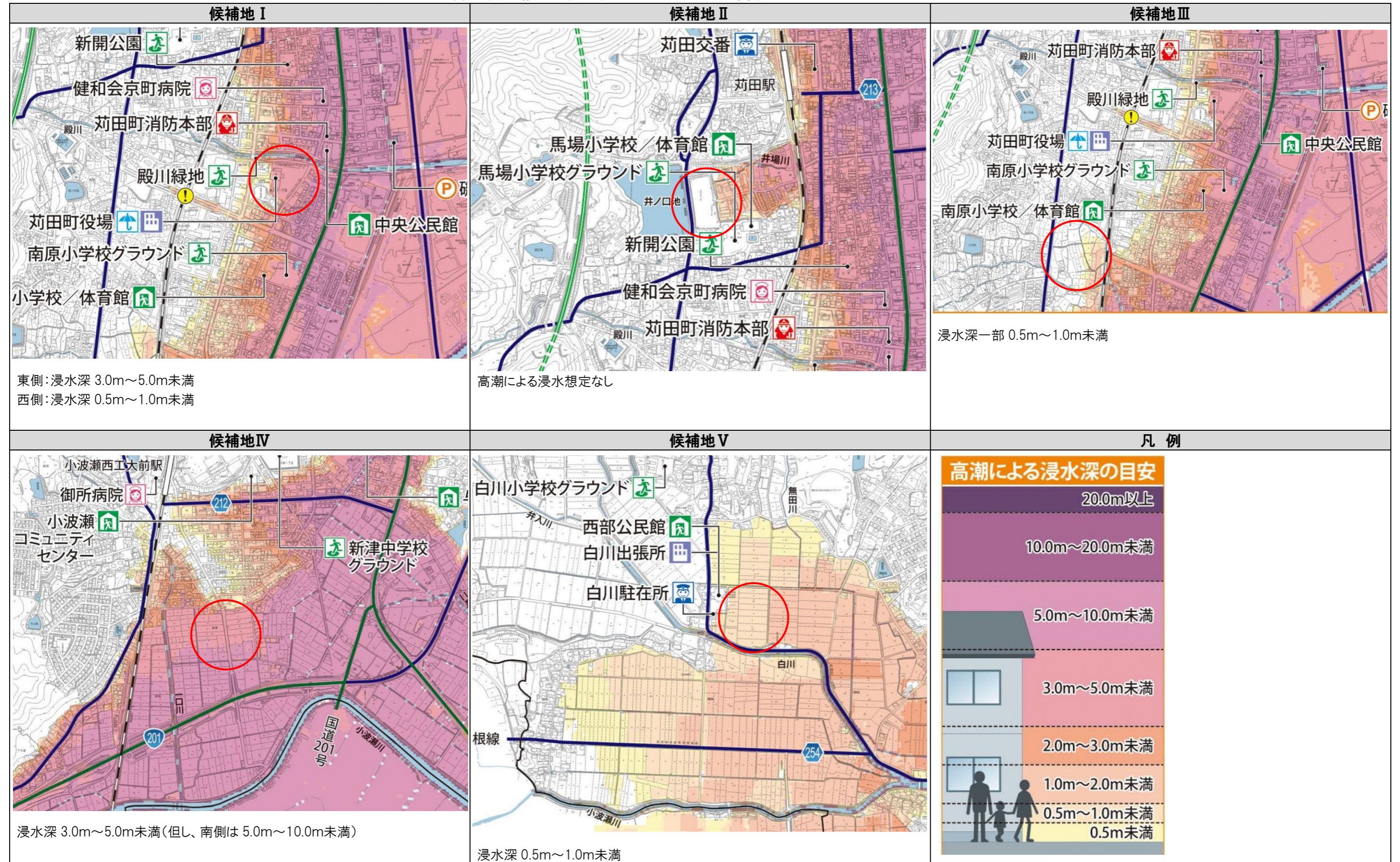
(1) 新庁舎建設候補地比較・評価参考資料

刈田町新庁舎建設基本構想・第5章において、新庁舎建設の各候補地を比較・評価する際の参考資料は以下に示すとおりです。

＜候補地評価項目及び該当する参考資料＞

視点	評価項目	評価内容	参考資料
防災・まちづくり	敷地の安全性	洪水等による浸水の影響度合い、土砂災害警戒区域との関係、液状化の危険性	参考資料 1～4
	防災拠点としての優位性	緊急輸送道路との接続性、消防本部との位置関係	参考資料 5
	まちづくりとの整合	都市計画マスタープランとの整合	参考資料 6
町民の利便性	自家用車によるアクセス性	アクセス道路の状況	参考資料 5
	公共交通機関によるアクセス性	駅・バス路線との位置関係	参考資料 7
	主な公共公益施設との近接性	主な公共公益施設との位置関係	参考資料 8
	町域から見たアクセス性	人口重心との位置関係	参考資料 8
事業の効率性	敷地の制約	建設中の利用者対応、敷地の状況等	—
	事業スケジュールへの影響	必要となる敷地関連手続きの有無、工事工程	—
	経済性	土地取得・整備等を含む庁舎整備に必要なとなる費用	—

苅田町新庁舎建設基本構想 一候補地比較・評価 参考資料 1ー 【評価項目:敷地の安全性】 ハザードマップ(高潮)



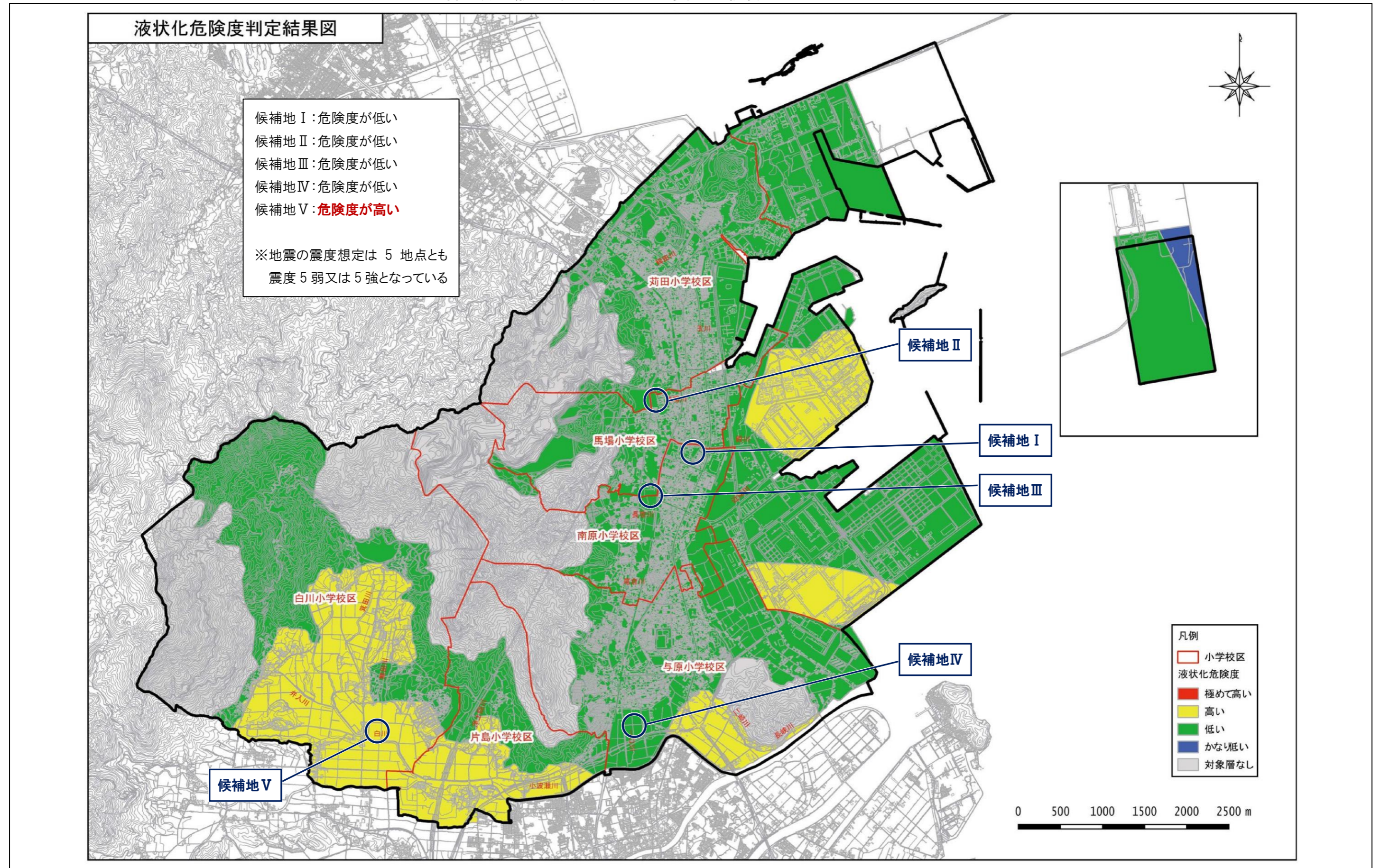
荻田町新庁舎建設基本構想 一 候補地比較・評価 参考資料 2ー 【評価項目：敷地の安全性】 ハザードマップ(津波)



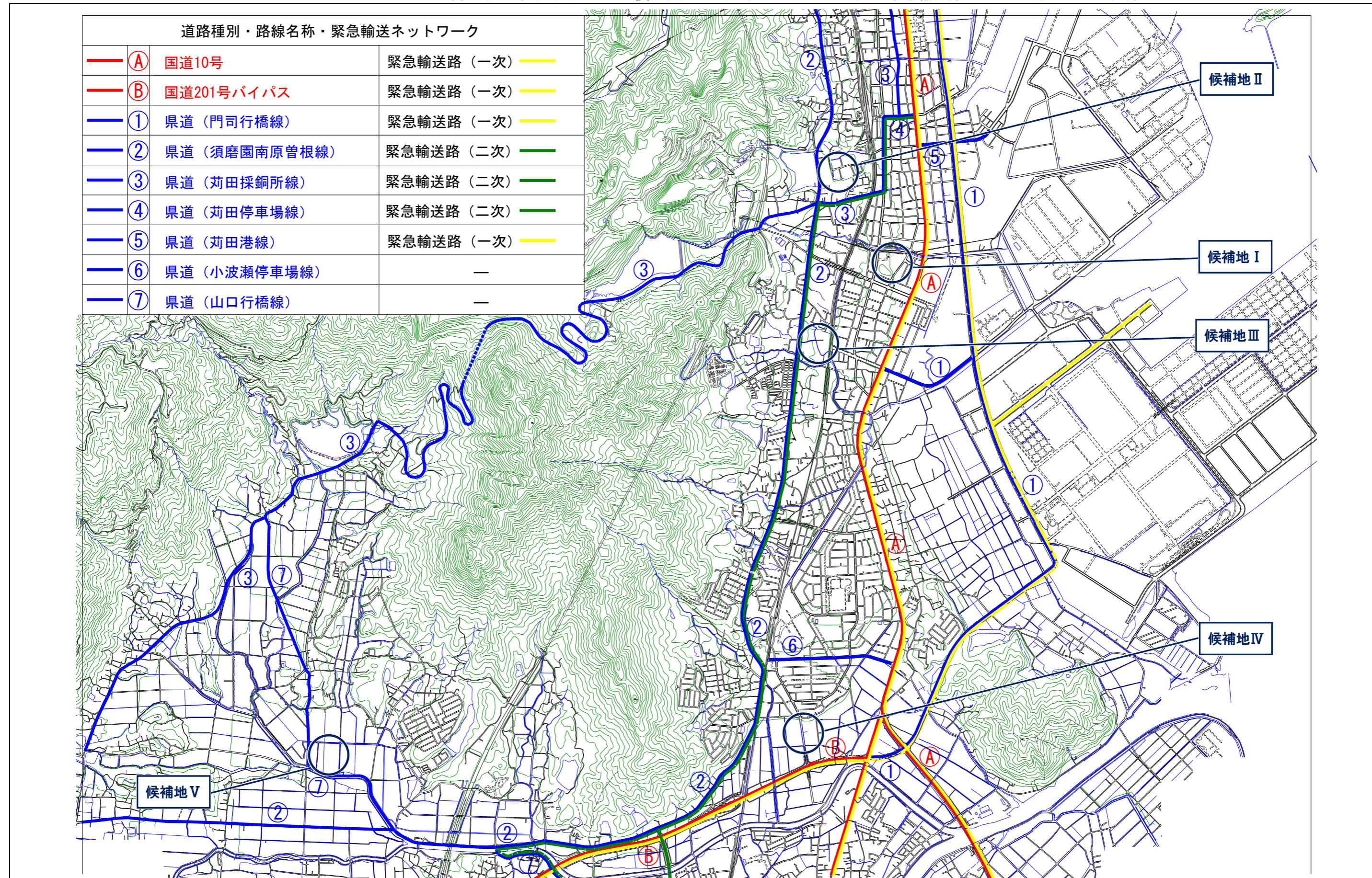
苅田町新庁舎建設基本構想 一候補地比較・評価 参考資料 3— 【評価項目：敷地の安全性】 ハザードマップ(内水はん濫・土砂災害)

候補地Ⅰ	候補地Ⅱ	候補地Ⅲ
<p>内水はん濫：想定なし。 土砂災害：想定なし。</p>	<p>内水はん濫：一部 0.2m～0.5m未満の箇所あり。 土砂災害：北側が土石流警戒区域内。</p>	<p>内水はん濫：一部 0.2m～0.5m未満の箇所あり。 土砂災害：想定なし。</p>
候補地Ⅳ	候補地Ⅴ	凡例
		<p>内水はん濫による浸水深の目安</p> <ul style="list-style-type: none"> 3.0m以上 2.0m～3.0m未満 1.0m～2.0m未満 0.5m～1.0m未満 0.2m～0.5m未満 <p>※0.2m未満の浸水想定区域は表示していません。</p> <p>土砂災害(特別)警戒区域</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 急傾斜地の崩壊 ② 土石流 ③ 地すべり <p>① 土砂災害特別警戒区域 土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域。</p> <p>② 土砂災害警戒区域 土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域。</p>
<p>内水はん濫：一部 0.2m～0.5m未満。 土砂災害：想定なし。</p>	<p>内水はん濫：0.5m～1.0m未満。 土砂災害：想定なし。</p>	

苅田町新庁舎建設基本構想 一候補地比較・評価 参考資料 4—【評価項目：敷地の安全性】地盤の液状化危険度



苅田町新庁舎建設基本構想 ー候補地比較・評価 参考資料5ー 【評価項目:防災拠点としての優位性/自家用車によるアクセス性】 緊急輸送路ネットワーク/アクセス道路



苅田町新庁舎建設基本構想 一 候補地比較・評価 参考資料 6— 【評価項目：まちづくりとの整合】 都市計画マスタープラン(将来の都市構造イメージ)

将来の都市構造 (都市計画マスタープランより引用)

まちづくりの基本目標を踏まえ、都市の骨格や主要な交通を形成する交通軸、都市機能や生活機能が集積する拠点、市街地や農地・山林などの土地利用区分であるゾーンの3つの要素から、将来の都市構造を設定します。

【交通軸の形成】

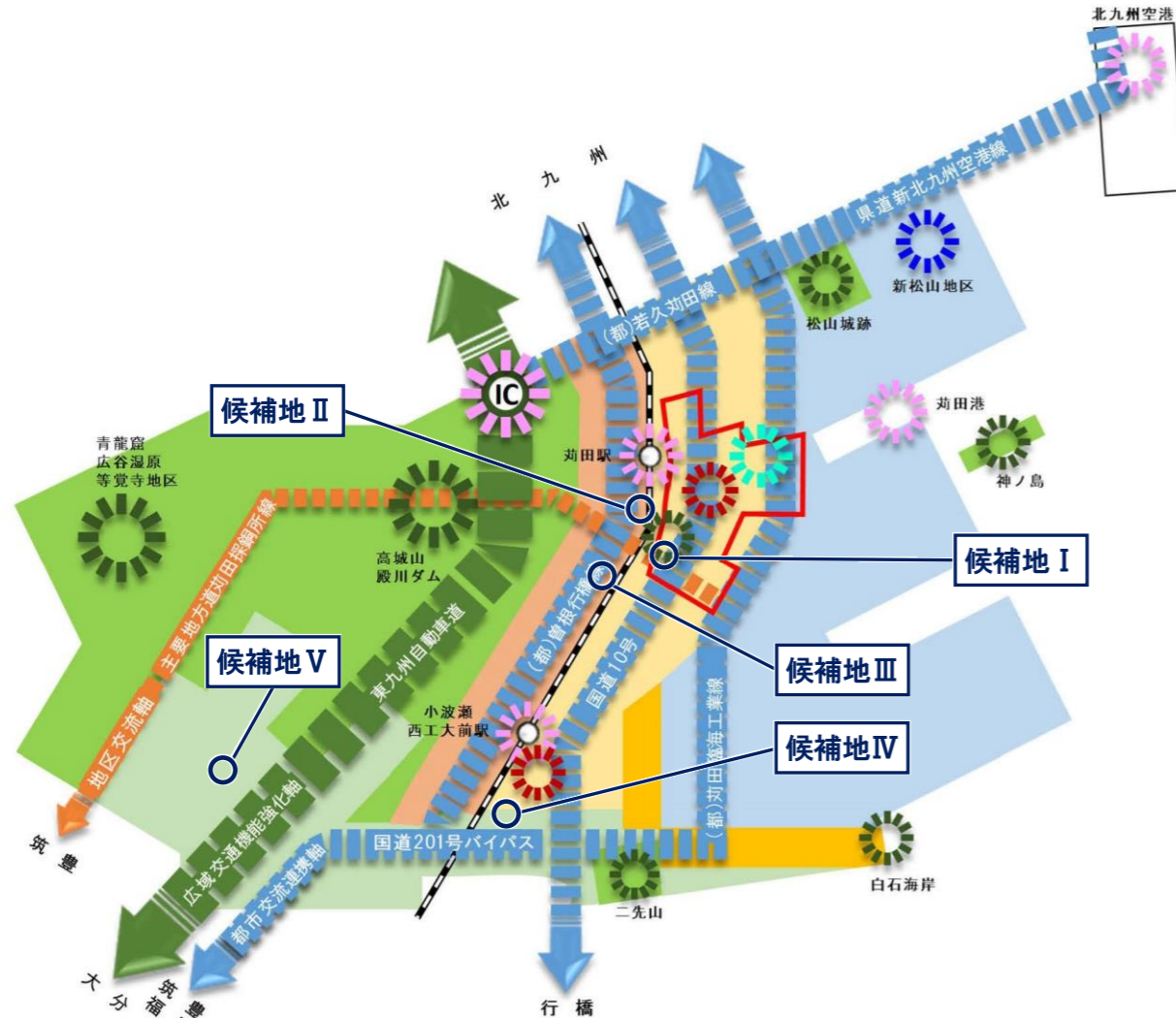
広域交通機能強化軸	東九州地域を含め、九州の循環型ネットワークを形成する東九州自動車道は、広域交通機能強化軸と位置づけ、広域都市間の人やものの交流や連携を図ります。
都市交流連携軸	国道10号、国道201号バイパス、(都)曾根行橋線(県道須磨園南原曾根線)、(都)苅田臨海工業線、県道新北九州空港線、(都)若久苅田線などの広域幹線道路は、都市交流連携軸と位置づけ、近隣都市間の交流連携や物流機能の強化、都市防災機能の向上を図ります。
地区交流軸	主要地方道苅田採銅所線は、地区交流軸と位置づけ、近隣市町との行政・商業・コミュニティ機能の連携を図ります。また、幹線道路や補助幹線道路の整備を進め、地区間交流の円滑化を図ります。

【拠点の形成】

交通拠点	苅田北九州空港 IC、JR 苅田駅、JR 小波瀬西工大前駅、苅田港、北九州空港は、陸・海・空の交通拠点として位置づけます。特に、鉄道駅は、通勤・通学、駅周辺施設利用者などにとって身近な公共交通の拠点であることから、JR 苅田駅は駅関連施設の充実により、JR 小波瀬西工大前駅は駅周辺施設の整備や安全性確保により、利便性の向上を図ります。
新規産業拠点	新松山地区の埋立地は、新規産業拠点として位置づけ、既存産業との連携や交通拠点を生かした新たな産業地の形成を図ります。また、北九州空港島の用地は、産業地としての活用も含め、今後の土地利用を検討していきます。
商業拠点	JR 苅田駅周辺の中心市街地は、中心商業拠点として位置づけ、生活に必要な幅広いサービスの提供を受けられる商業・サービス機能の集積による活性化を図ります。 JR 小波瀬西工大前駅周辺は、地区商業拠点として位置づけ、日常生活に必要な物販・飲食施設などの立地誘導により生活利便性の向上を図ります。
港湾情報交流拠点	磯浜町1丁目地区は、港湾情報交流拠点として位置づけ、臨海部の特性を生かした憩いや交流空間の創出を図ります。また、苅田駅及び商店街と連携した土地利用と回遊性強化により、中心市街地の活性化を図ります。
歴史文化・自然系交流拠点	青龍窟や広谷湿原、等覚寺地区、高城山、殿川ダム周辺、松山城跡、神ノ島は、歴史文化・自然系交流拠点として位置づけ、豊かな自然に囲まれ歴史文化にふれあえる場の形成を図ります。 二先山、白石海岸は自然系交流拠点として位置づけ、緑の保全を図るとともに、自然にふれあえる場の形成を図ります。 町立図書館や歴史資料館、石塚山古墳を含む町役場周辺は、歴史文化交流拠点として位置づけ、関連する情報発進基地としての機能の充足を図ります。

【ゾーンの形成】

既存市街地ゾーン	土地区画整理事業などにより基盤が整備され、多様な都市機能が集積している JR 日豊本線東側の市街地は、既存市街地ゾーンとして位置づけ、快適に住み続けられる良好な住環境の保全・改善を図ります。
周辺市街地ゾーン	農地の分布がみられる JR 日豊本線西側の市街地は、周辺市街地ゾーンとして位置づけ、農地の宅地化や都市内緑地などとしての活用について検討し、アメニティ(環境の快適さや住みやすさ)豊かな住宅市街地の形成を図ります。
新規住宅地形成ゾーン	与原土地区画整理事業区域は、新規住宅地形成ゾーンとして位置づけます。 北側の施行地区は、基盤施設の充実と職住近接を生かした機能的で魅力ある住宅地の創出と、良好な住環境の形成を図ります。南側の計画地区は、今後の宅地需要を踏まえたうえで将来方針を検討します。
中心市街地ゾーン	JR 苅田駅周辺の中心市街地一帯は、中心市街地ゾーンとして位置づけ、商店街の振興を図るとともに、南北幹線道路を軸とした沿道型商業・サービス施設(交通の利便性の高い幹線道路沿道における商業サービス施設)や、まちなか居住に必要な施設など、多様な都市機能の立地・集積を図ります。
臨海・臨空工業地ゾーン	市街地東側に広がる臨海工業地帯は、臨海・臨空工業地ゾーンとして位置づけ、既存工業施設の高度化と、公害防止などに留意しつつ、新たな産業の立地・集積を図ります。
農業・集落振興ゾーン	市街地調整区域や都市計画区域外の農業地域は、農業・集落振興ゾーンとして位置づけ、農地の適切な保全と農業振興を図るとともに、農村の生活環境の向上、活性化、コミュニティの維持などに取組みます。
自然環境保全ゾーン	市街地調整区域や都市計画区域外に広がる山林は、自然環境保全ゾーンとして位置づけ、生物多様性に留意した自然環境の保全、土砂災害防止や水源かん養などの機能保全を図るとともに、歴史文化や自然との交流の場として活用します。



- 広域交通機能強化軸
- 都市交流連携軸
- 地区交流軸
- 既存市街地ゾーン
- 周辺市街地ゾーン
- 新規住宅地形成ゾーン
- 中心市街地ゾーン
- 臨海・臨空工業地ゾーン
- 農業・集落振興ゾーン
- 自然環境保全ゾーン
- 交通拠点
- 新規産業拠点
- 商業拠点
- 港湾情報交流拠点
- 歴史文化・自然系交流拠点

苅田町新庁舎建設基本構想 ー候補地比較・評価 参考資料 7ー 【評価項目:公共交通機関によるアクセス性】コミュニティバス路線図



2021年6月発行

苅田町新庁舎建設基本構想 一候補地比較・評価 参考資料 8—【評価項目：公共公益施設との近接性／町域から見たアクセス性】

